

地区別カルテ

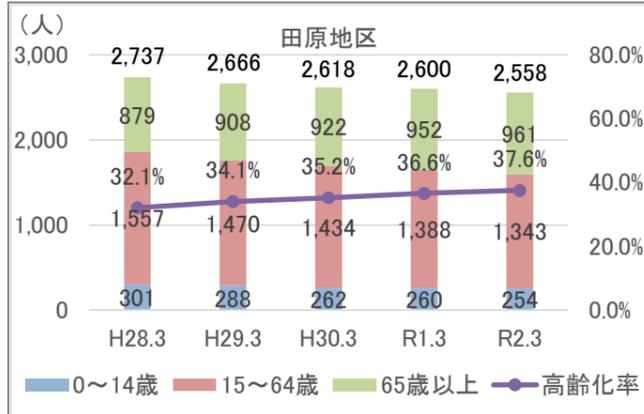
① 田原地区 ◆地区特性

- 田原地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約2,500人が居住している。
- 田原小学校周辺に人口が集中している。
- 高齢化率は令和2年3月時点で約38%と他地域に比べると低くなっている。
- 地区内に施設等の立地が少ない。
- 公共交通は路線バスが中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約1割となっている。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- 地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移動手段の確保が必要。
⇒現在の路線バスは維持？、ただし、路線重複の問題は検討が必要。
- 居住人口は少ないものの、路線バス沿線から離れた地域に居住している住民が見られる。
⇒拠点（田原小学校など）までの移動手段の検討？

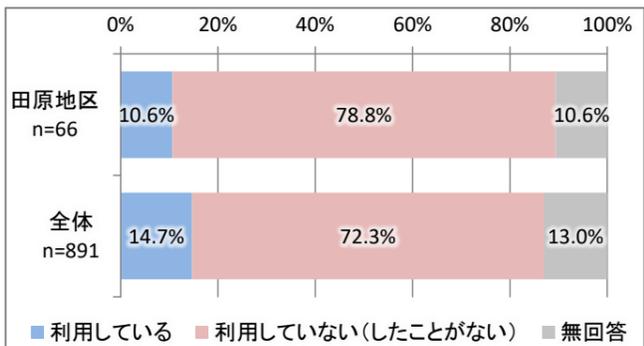
○地域概況（人口動態）



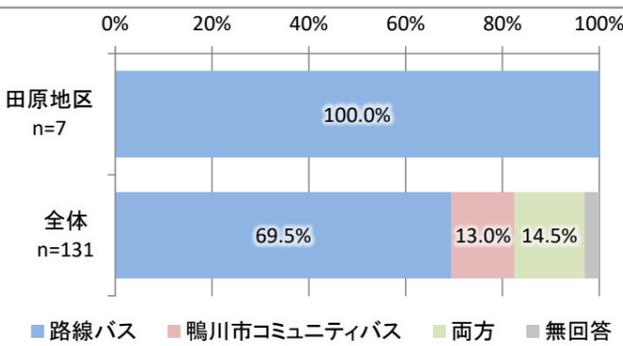
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

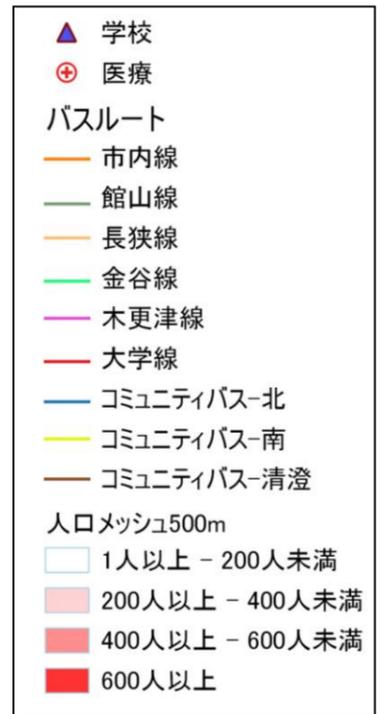
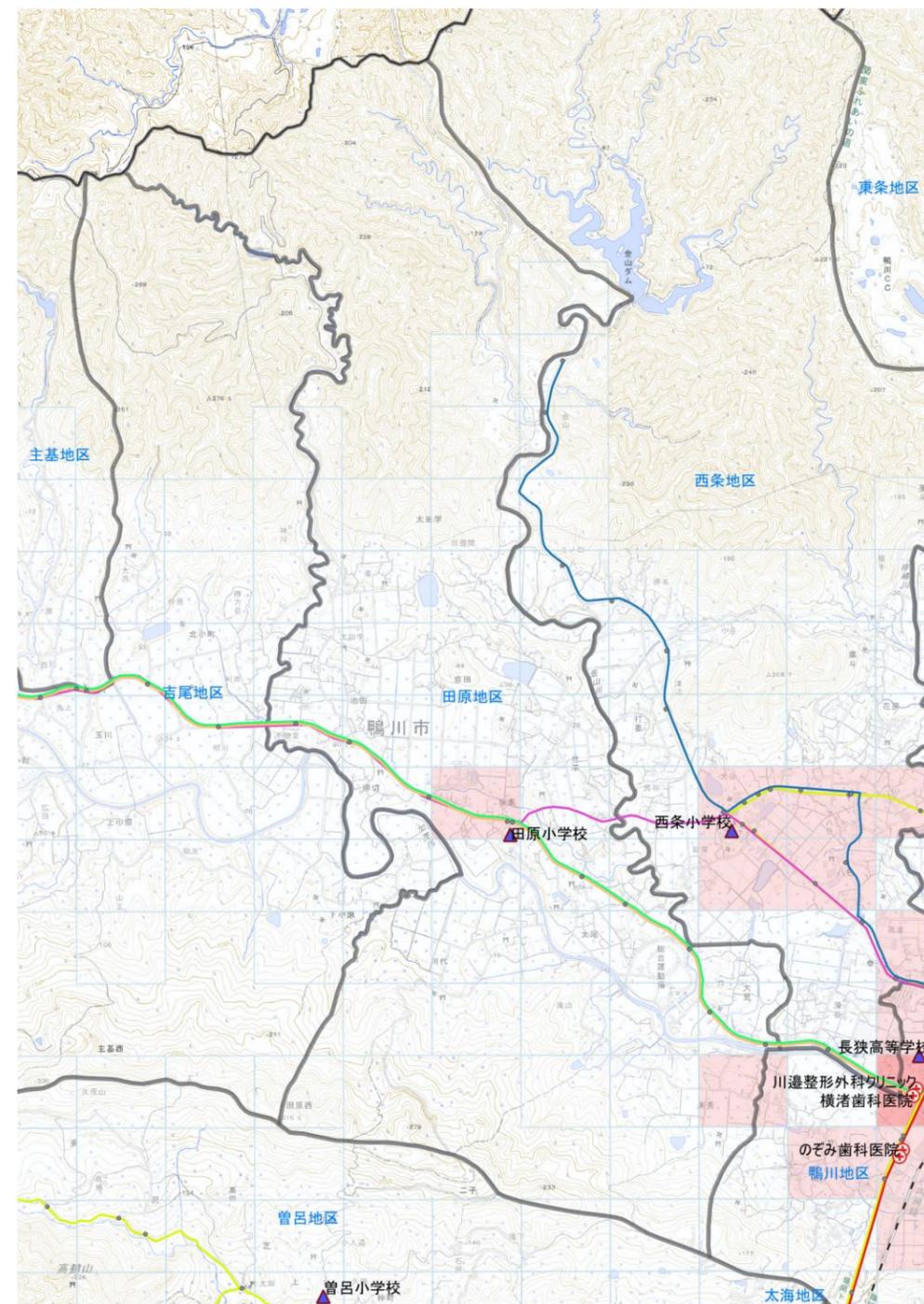
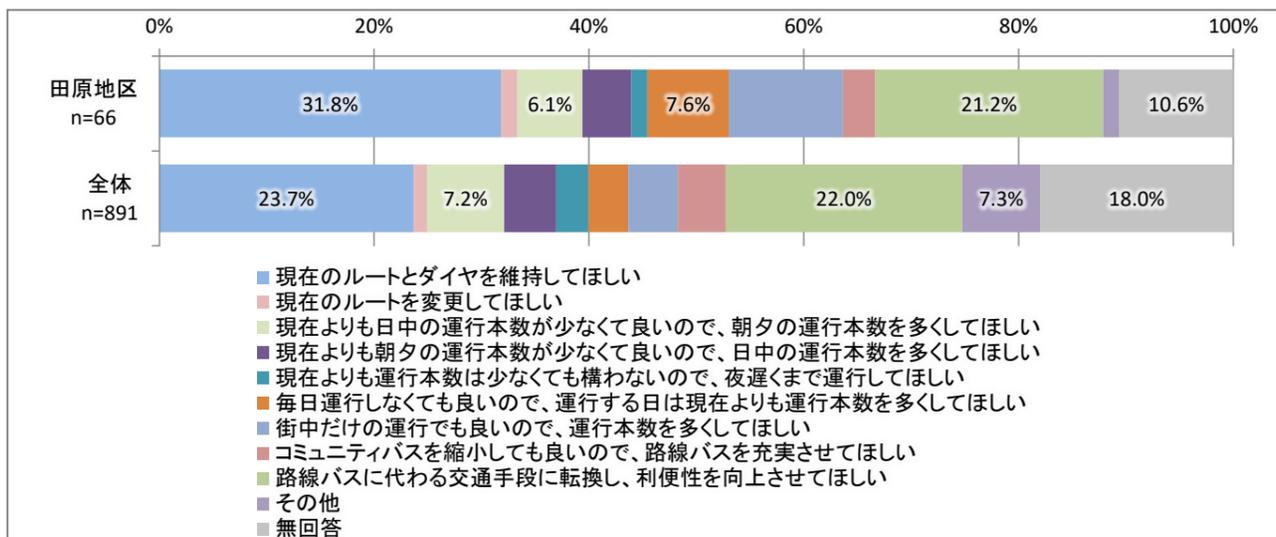
<公共交通の利用状況>



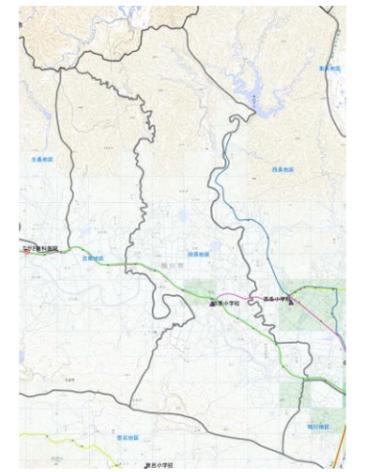
<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



<2040年将来人口推計>



②西条地区

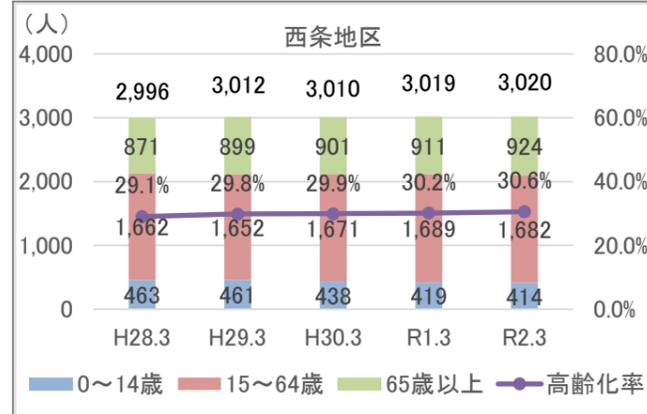
◆地区特性

- 西条地区は、人口は微増傾向にあり、令和2年3月時点で約3,020人が居住している。
- 西条小学校周辺に人口が集中している。
- 高齢化率は令和2年3月時点で約31%と他地域に比べると低くなっている。
- 地区内に施設等の立地が少ない。
- 公共交通はコミュニティバスと路線バスが中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約12%となっている。コミュニティバスの方が、若干利用率が高い。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、フリー乗降区間の設定が求められている。

現状課題

- 地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移動手段の確保が必要。
⇒コミュニティバスと路線バスが一部で重複、役割分担が必要。
- 居住人口は少ないものの、路線バス沿線から離れた地域に居住している住民が見られる。
⇒拠点（田原小学校など）までの移動手段の検討？

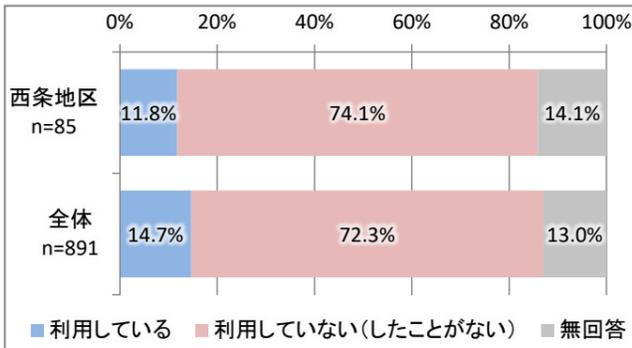
○地域概況（人口動態）



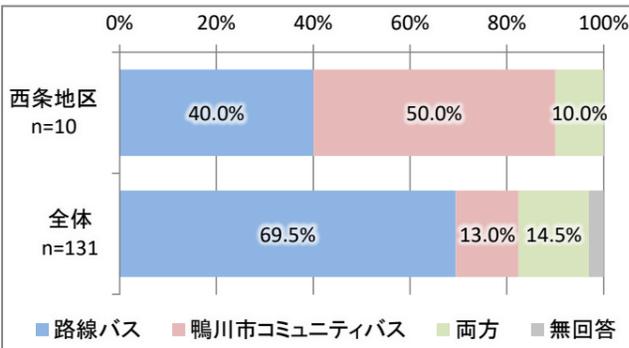
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

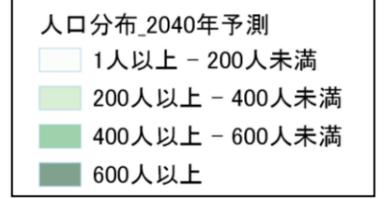
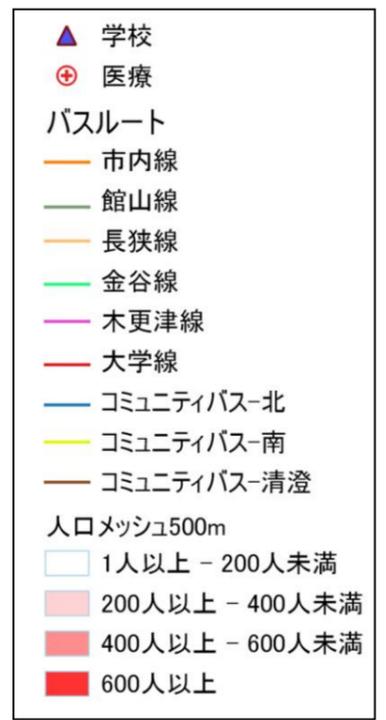
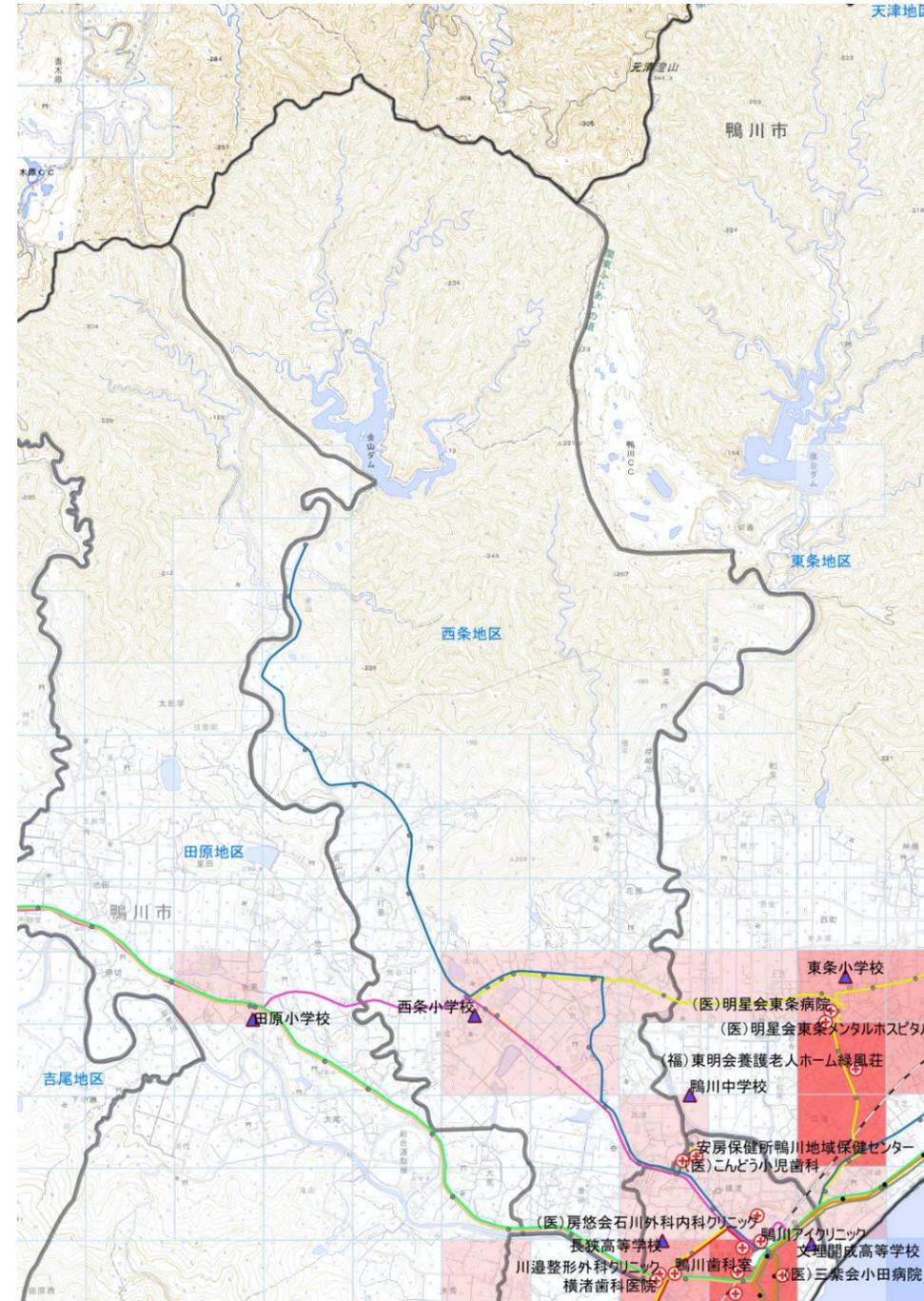
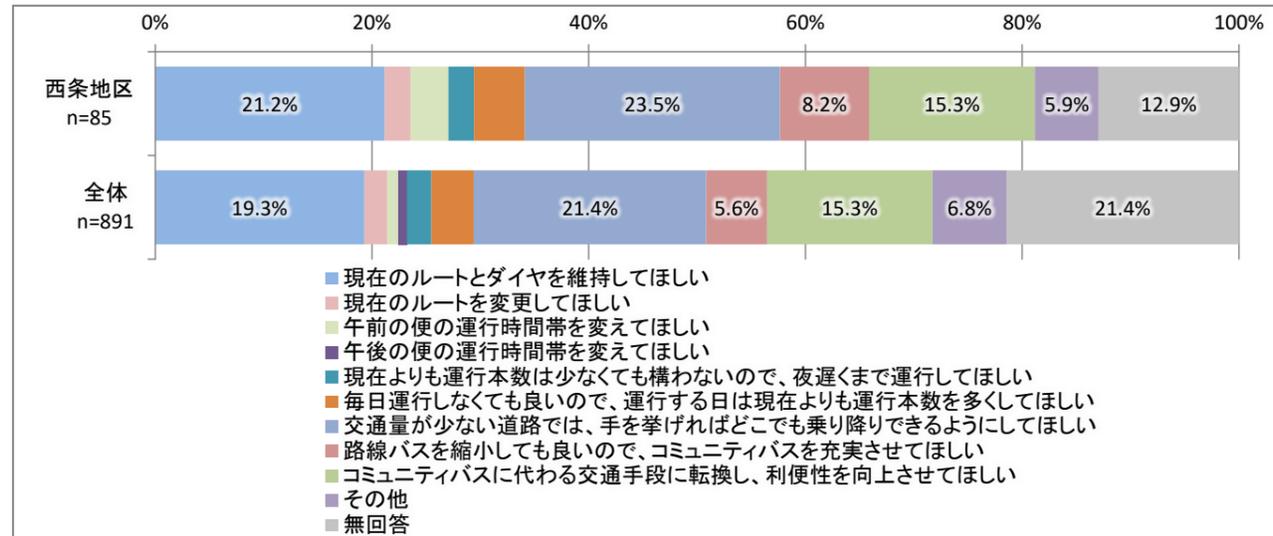
<公共交通の利用状況>



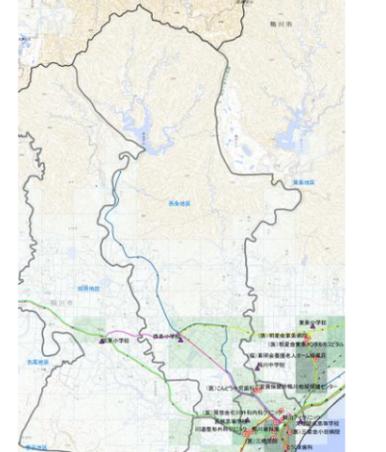
<利用している公共交通>



<コミュニティバスの今後のあり方>



<2040年将来人口推計>



③東条地区

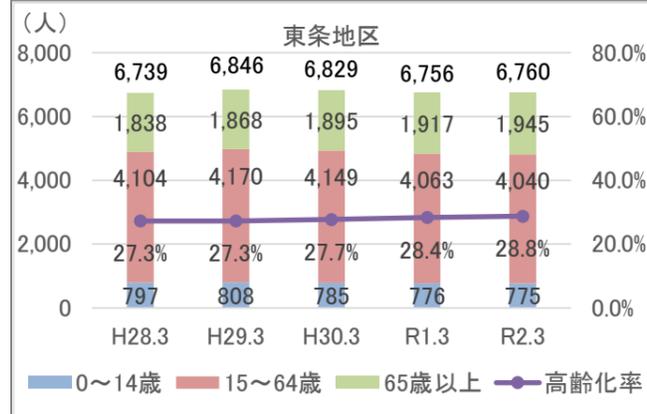
◆地区特性

- 東条地区は、人口は微増傾向にあり、令和2年3月時点で約6,760人が居住している。12地区の中で最も人口が多い。
- 中心部、鉄道沿線地域に人口が集中している。
- 高齢化率は令和2年3月時点で約29%と他地域に比べると最も高い。
- 地区内に施設等の立地が多い。
- 公共交通は路線バスやコミュニティバスが地区内及び中心部まで多く運行しており、利用者はアンケート回答者の約9%となっている。利用者の意見としては、路線バスに変わる交通手段への転換が求められている。

現状課題

- 地区内に施設が多いため、地区内及び中心部までの移手段の確保が必要。
⇒コミュニティバスと路線バスが一部で重複、役割分担が必要。
- 居住人口が多いものの、高齢化率が低く、アンケート結果からも他地域に比べて、公共交通のニーズが低い。

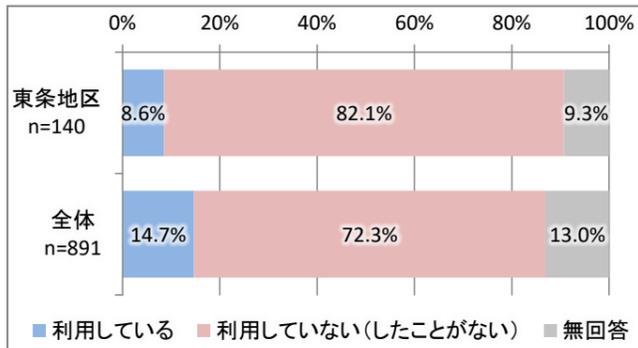
○地域概況（人口動態）



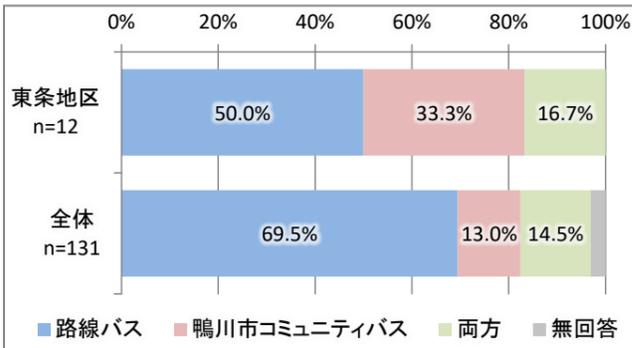
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

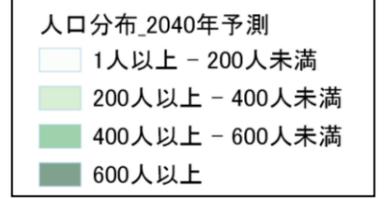
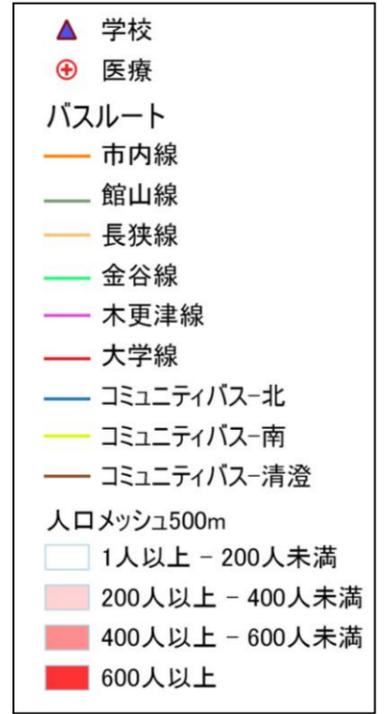
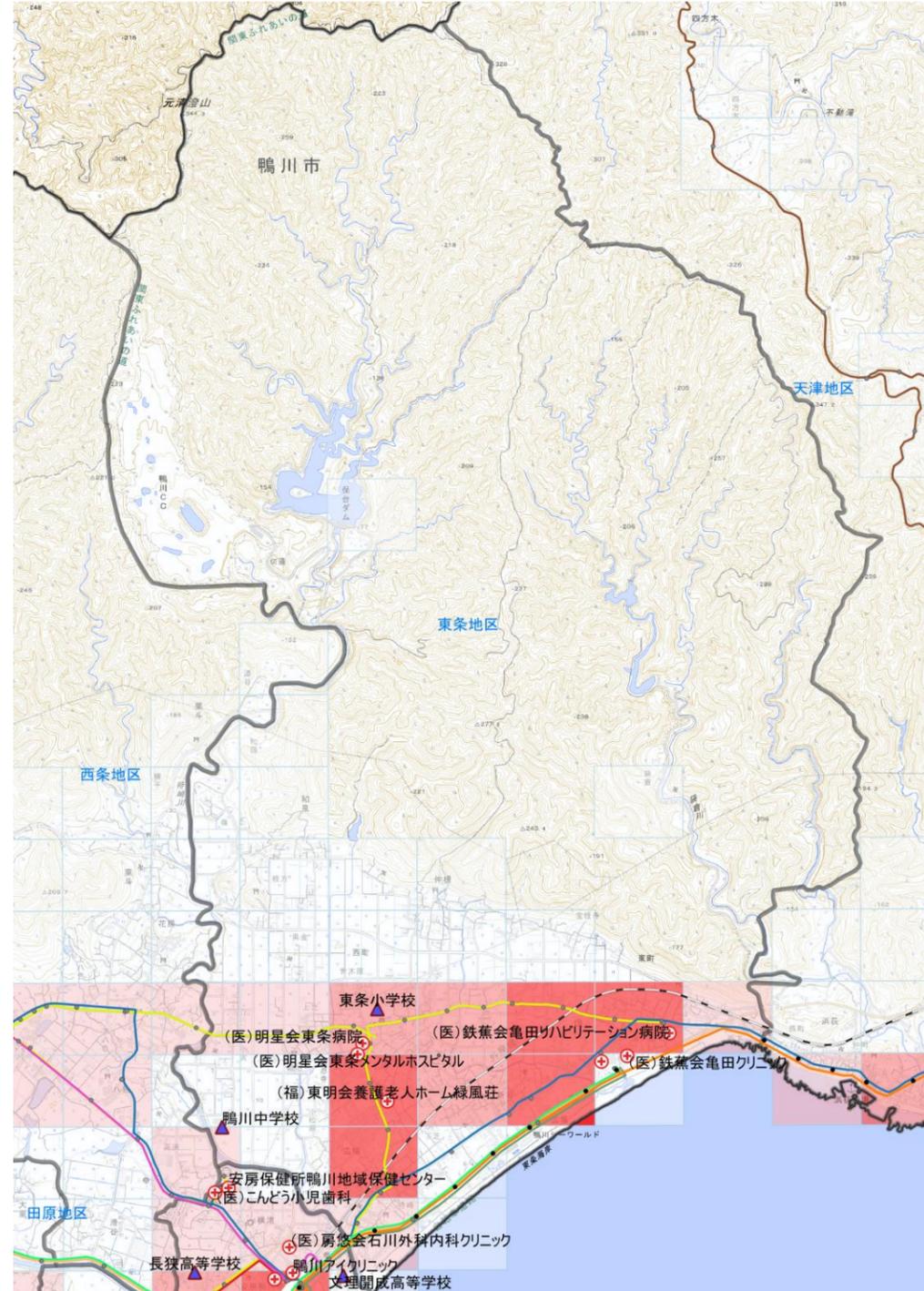
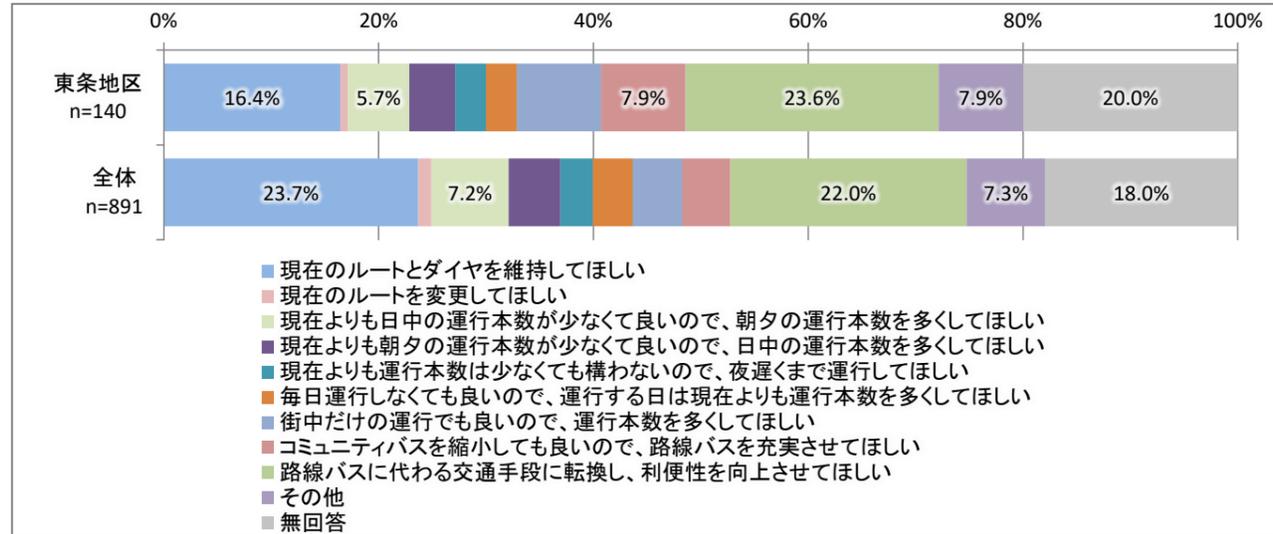
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



<2040年将来人口推計>



④鴨川地区

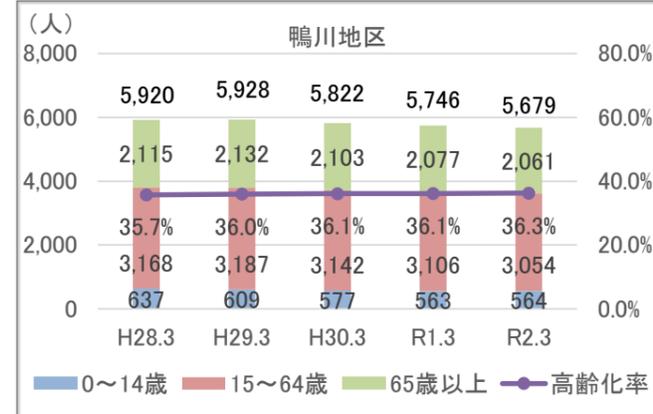
◆地区特性

- ・鴨川地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約5,680人が居住している。東条地区に次いで人口が多い。
- ・中心部、鉄道沿線地域に人口が集中している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約36%となっている。
- ・地区内に施設等の立地が多い。
- ・公共交通は路線バスやコミュニティバスが区内を多く運行しており、利用者はアンケート回答者の約20%と高い。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換が求められている。

現状課題

- ・地区内に施設が多いため、区内までの移手段の確保が必要。
- ⇒中心部でサービス水準が高いことから公共交通の利用者が多い。
- ⇒まちづくりの観点からも現在のサービス水準を維持。ただし、重複の役割分担は必要。

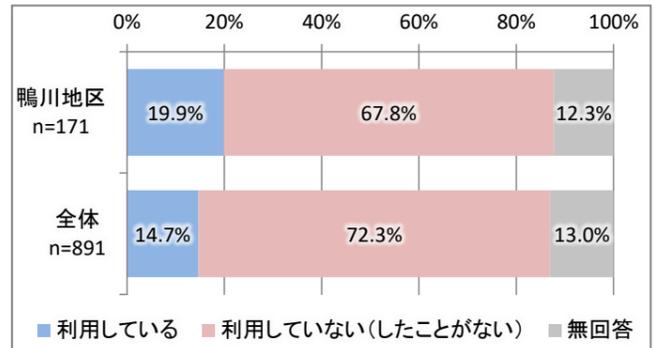
○地域概況（人口動態）



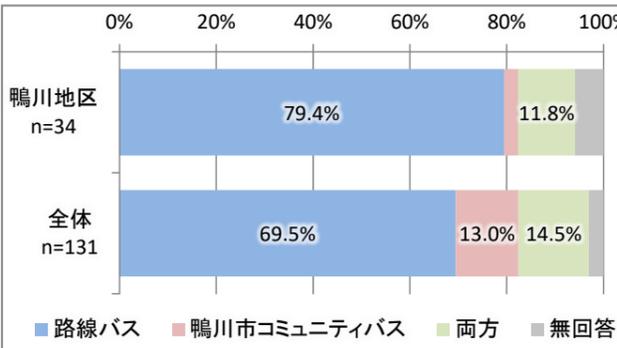
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

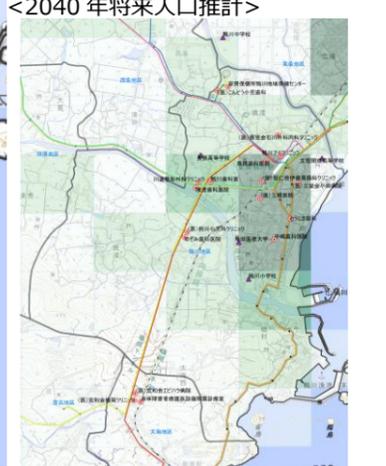
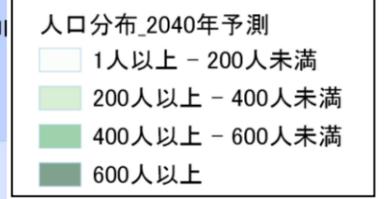
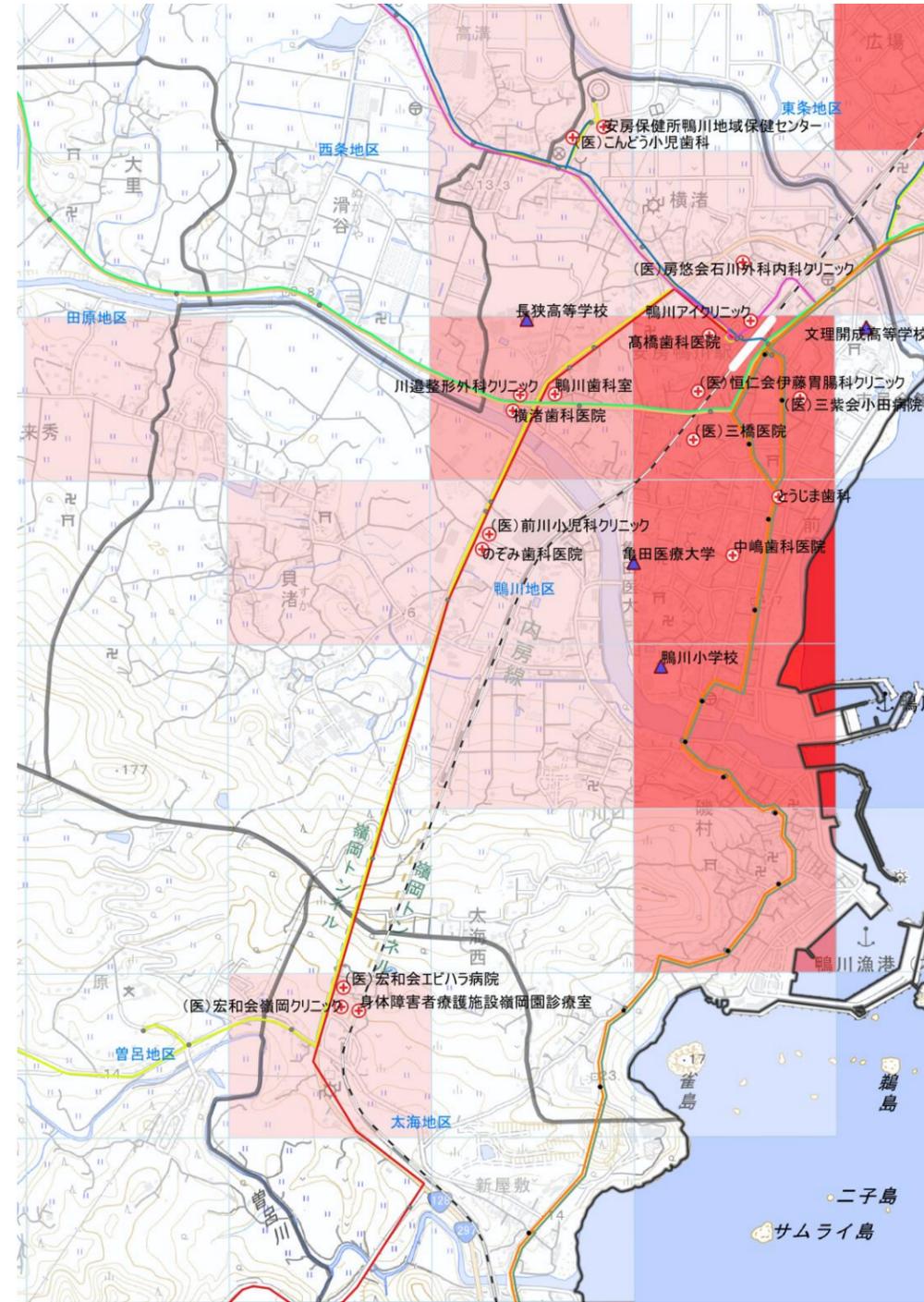
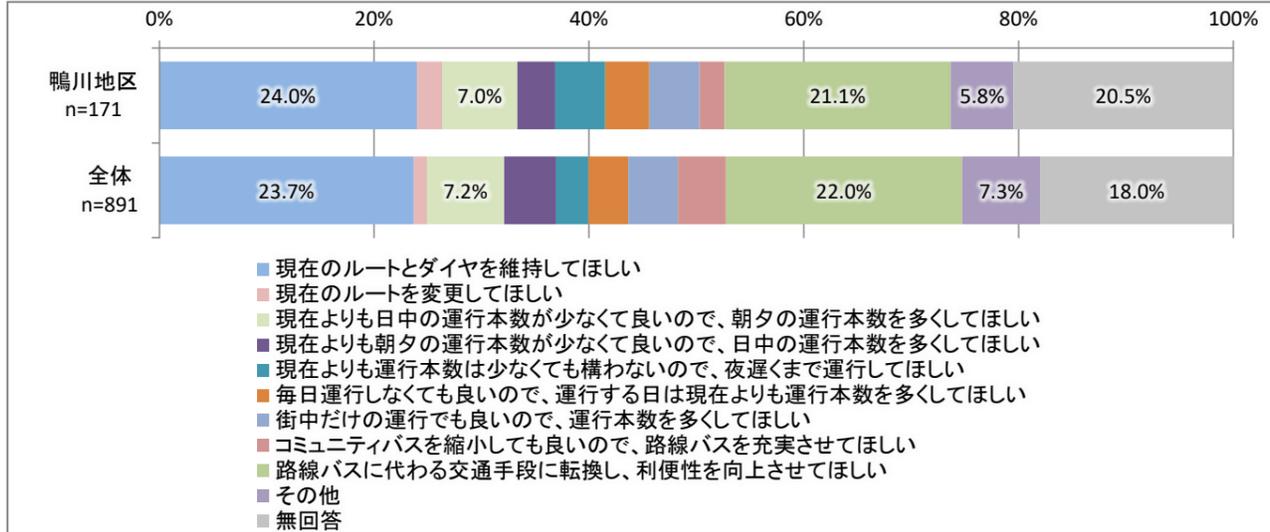
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑤ 大山地区

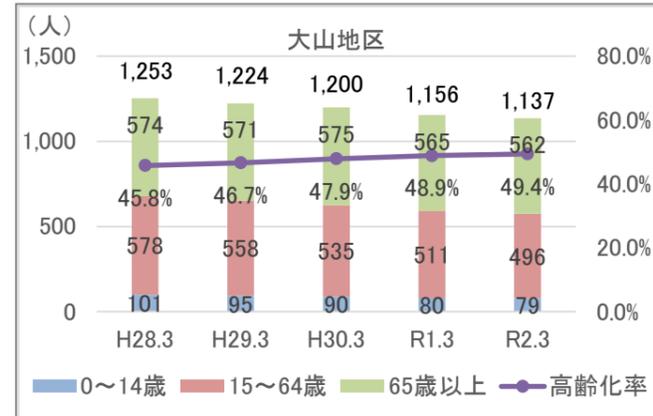
◆ 地区特性

- ・大山地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,140人が居住している。人口は地区全域に薄く分布している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約49%となっており、高齢化率は12地区の中で最も高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通は路線バスが地区内から中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約21%と高い。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換が求められている。
- ・現在、予約制乗合タクシーの実証運行を実施している。

現状課題

- ・地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移動手段の確保が必要。
⇒現在の路線バスは維持？、ただし、路線重複の問題は検討が必要。
- ⇒また予約制乗合タクシーの実証運行を行っており、網羅的に含めた検討が必要。
居住人口は少ないものの、路線バス沿線から離れた地域に居住している住民が見られる。
- ⇒バスによるカバーは難しい？

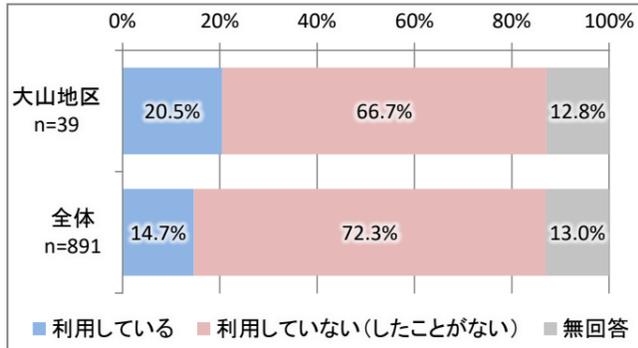
○ 地域概況（人口動態）



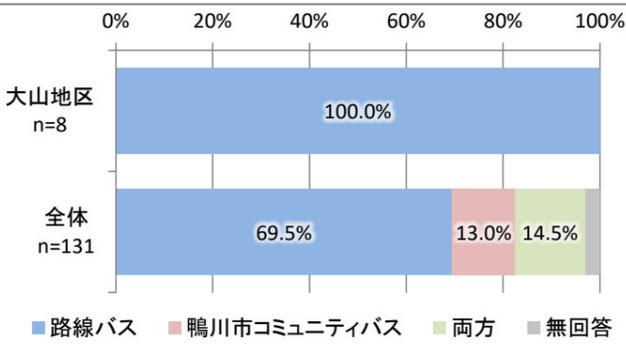
地区別の人口推計結果を掲載予定

○ 市民アンケート調査結果（一部抽出）

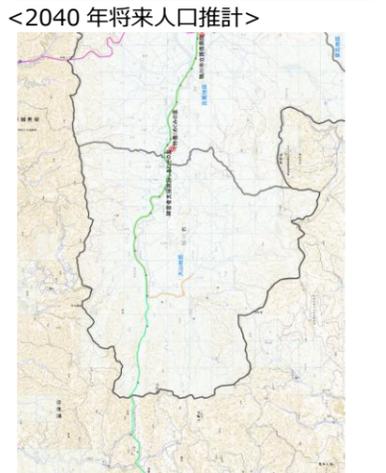
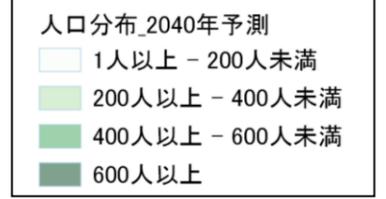
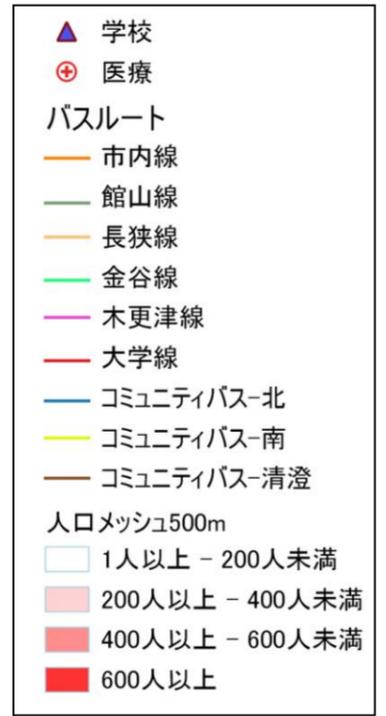
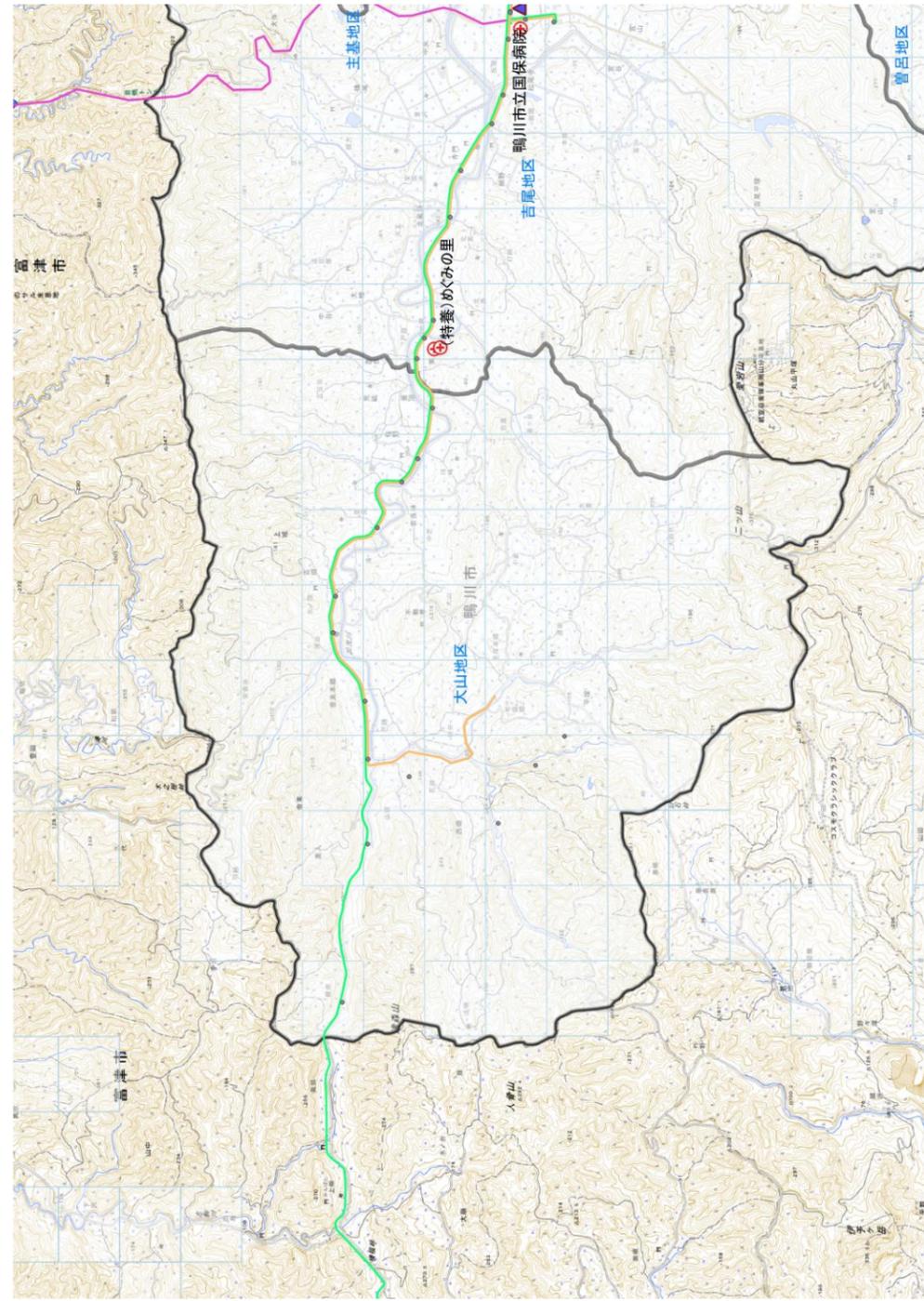
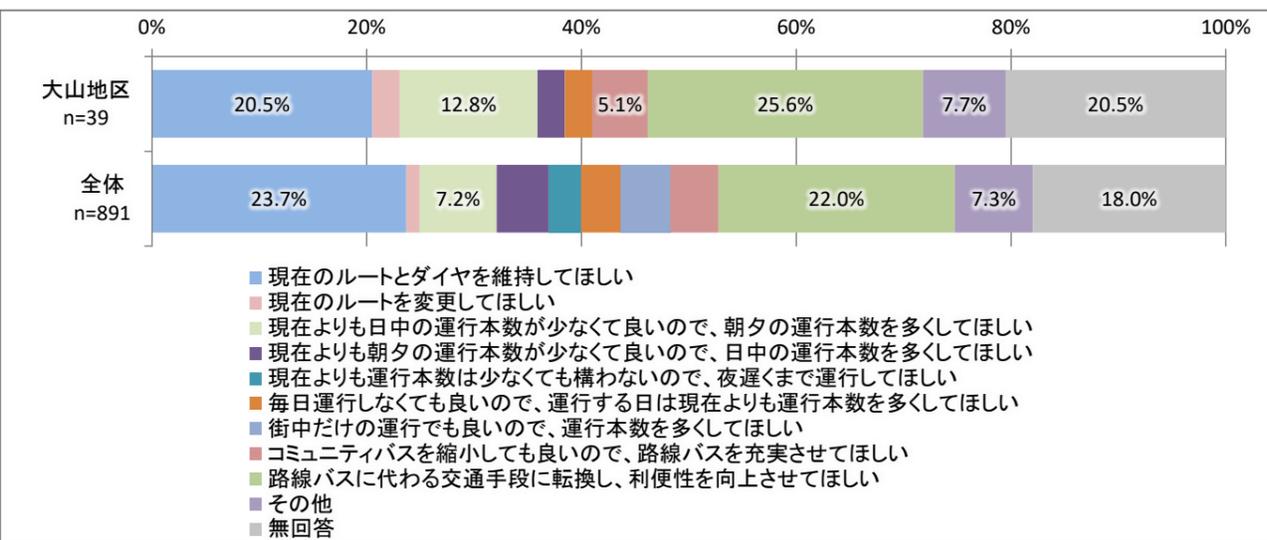
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑥吉尾地区

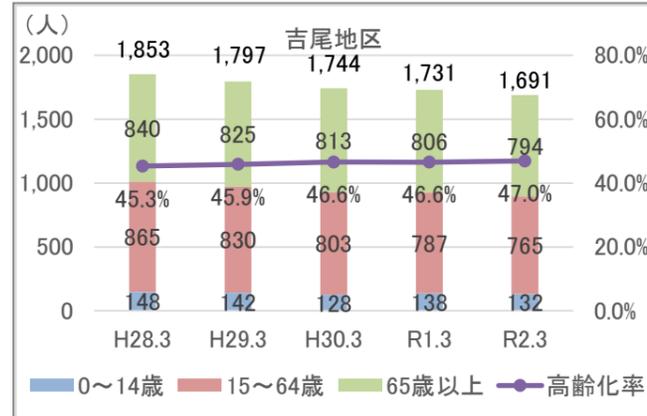
◆地区特性

- ・吉尾地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,690人が居住している。
- ・人口は地区全域に薄く分布している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約47%となっており、高齢化率は高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通は路線バスが地区内から中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約13%となっている。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換、朝夕の運行本数の充実が求められている。

現状課題

- ・地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移手段の確保が必要。
⇒現在の路線バスは維持？、ただし、朝夕の運行本数の充実が求められている。
- ・居住人口は少ないものの、路線バス沿線から離れた地域に居住している住民が見られる。
⇒バスによるカバーは難しい？

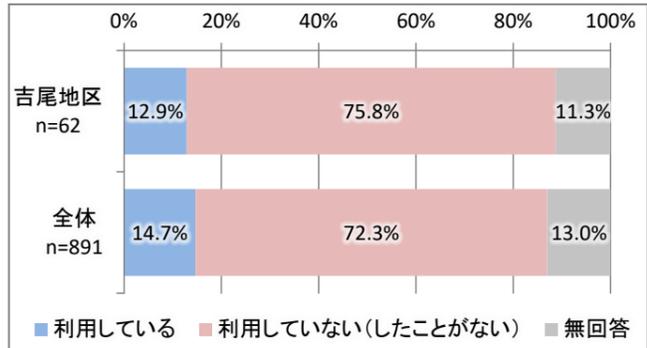
○地域概況（人口動態）



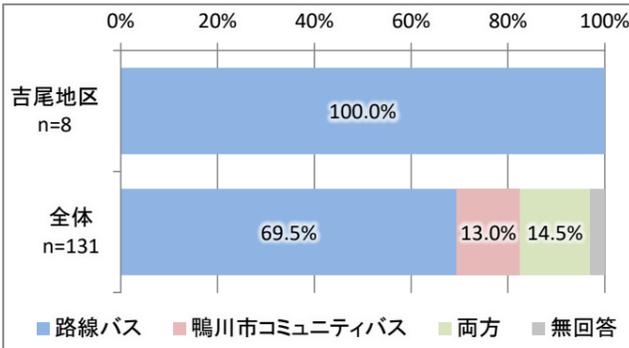
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

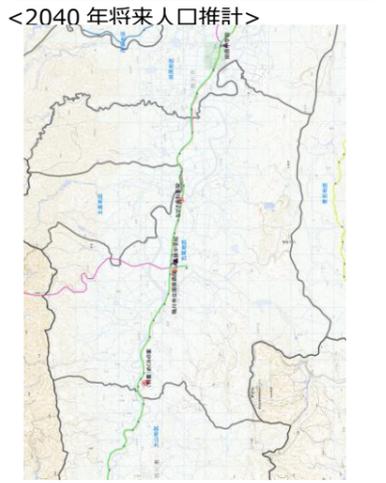
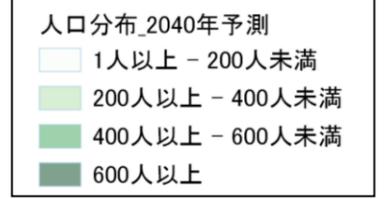
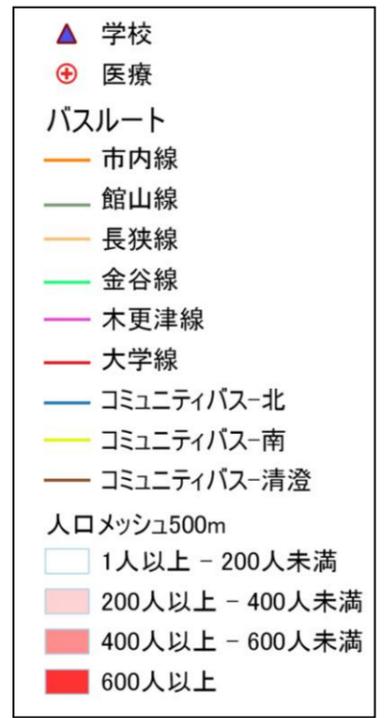
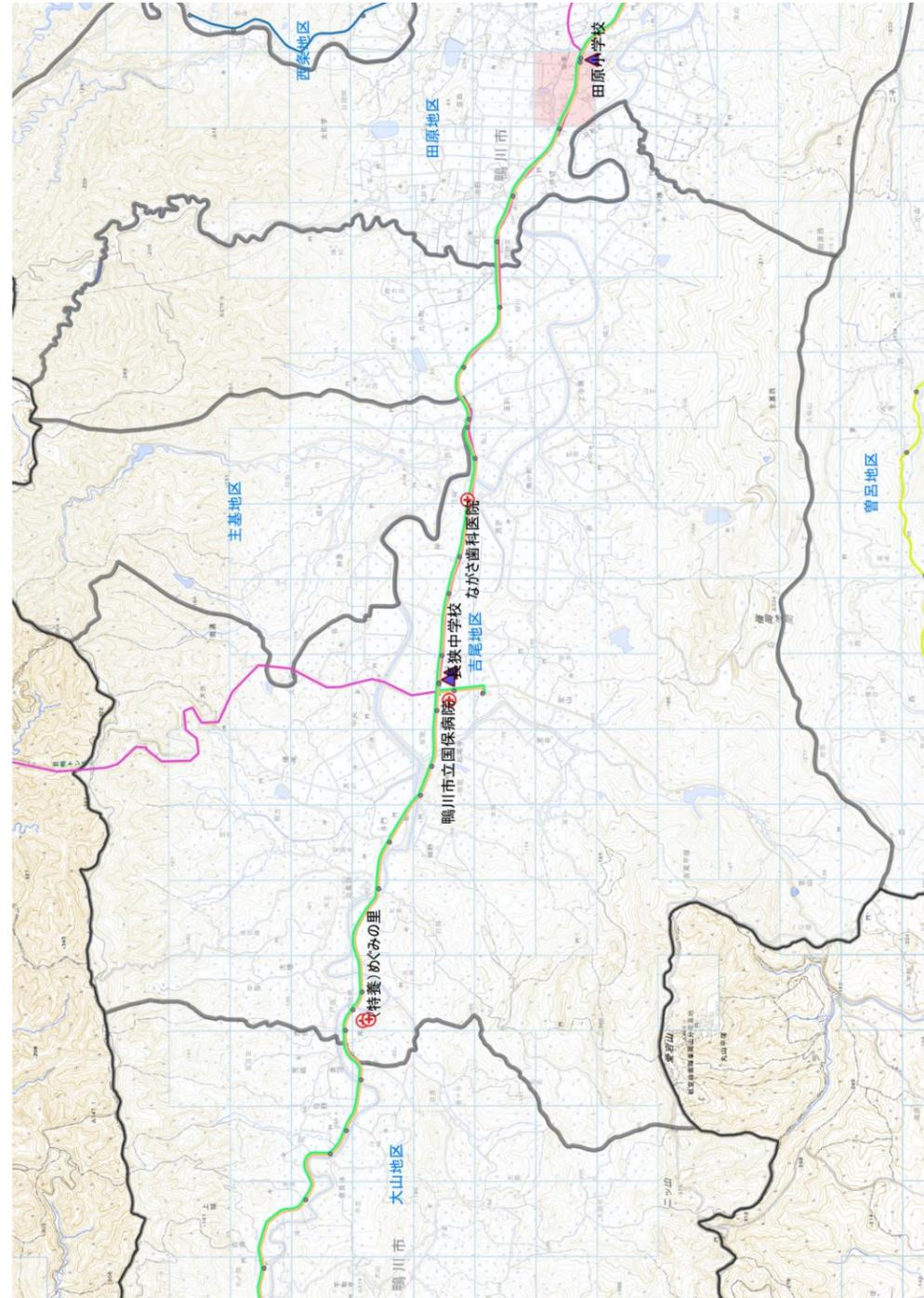
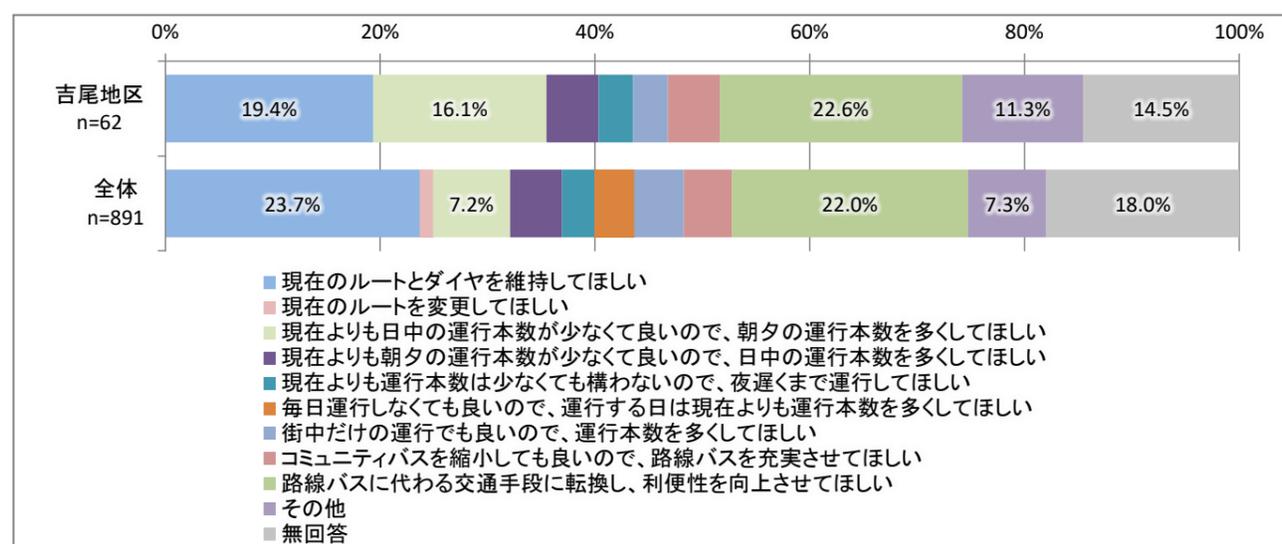
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑦主基地区

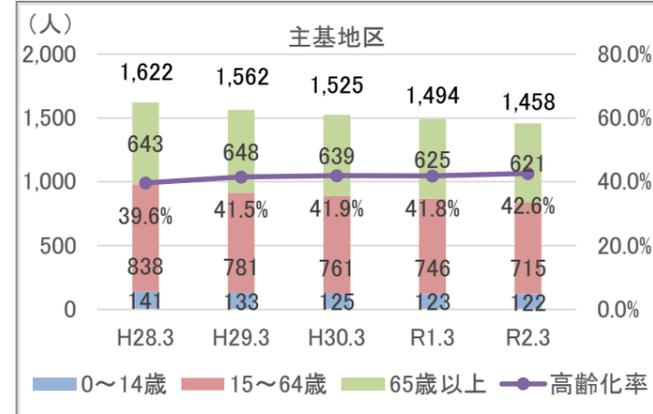
◆地区特性

- ・主基地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,460人が居住している。
- ・人口は地区全域に薄く分布している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約43%となっており、高齢化率は高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通は、地区内をほぼ運行していない状況となっており、現時点では空白地域に該当すると考えられる。

現状課題

- ・地区内に公共交通がほぼ運行していない状況で、空白地域に該当する。
⇒需要に応じて、新たな運行を検討？、もしくは木更津線の一部ルート変更で対応？

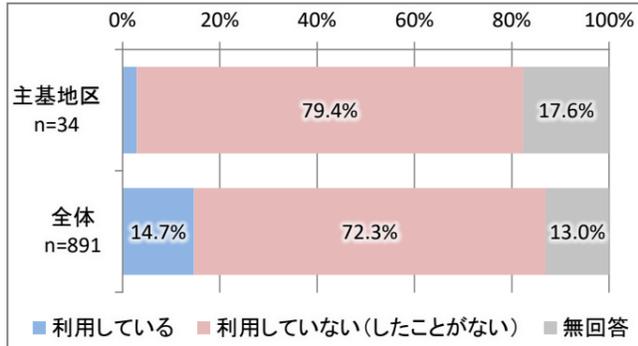
○地域概況（人口動態）



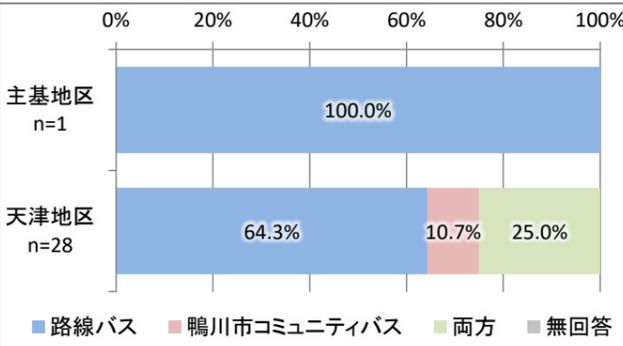
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

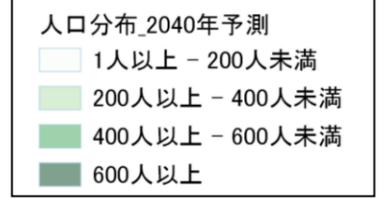
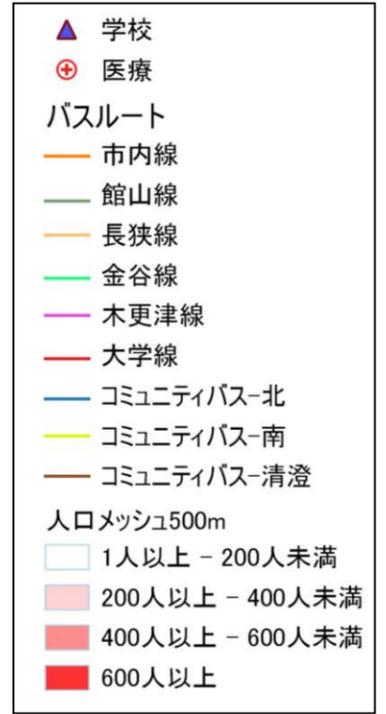
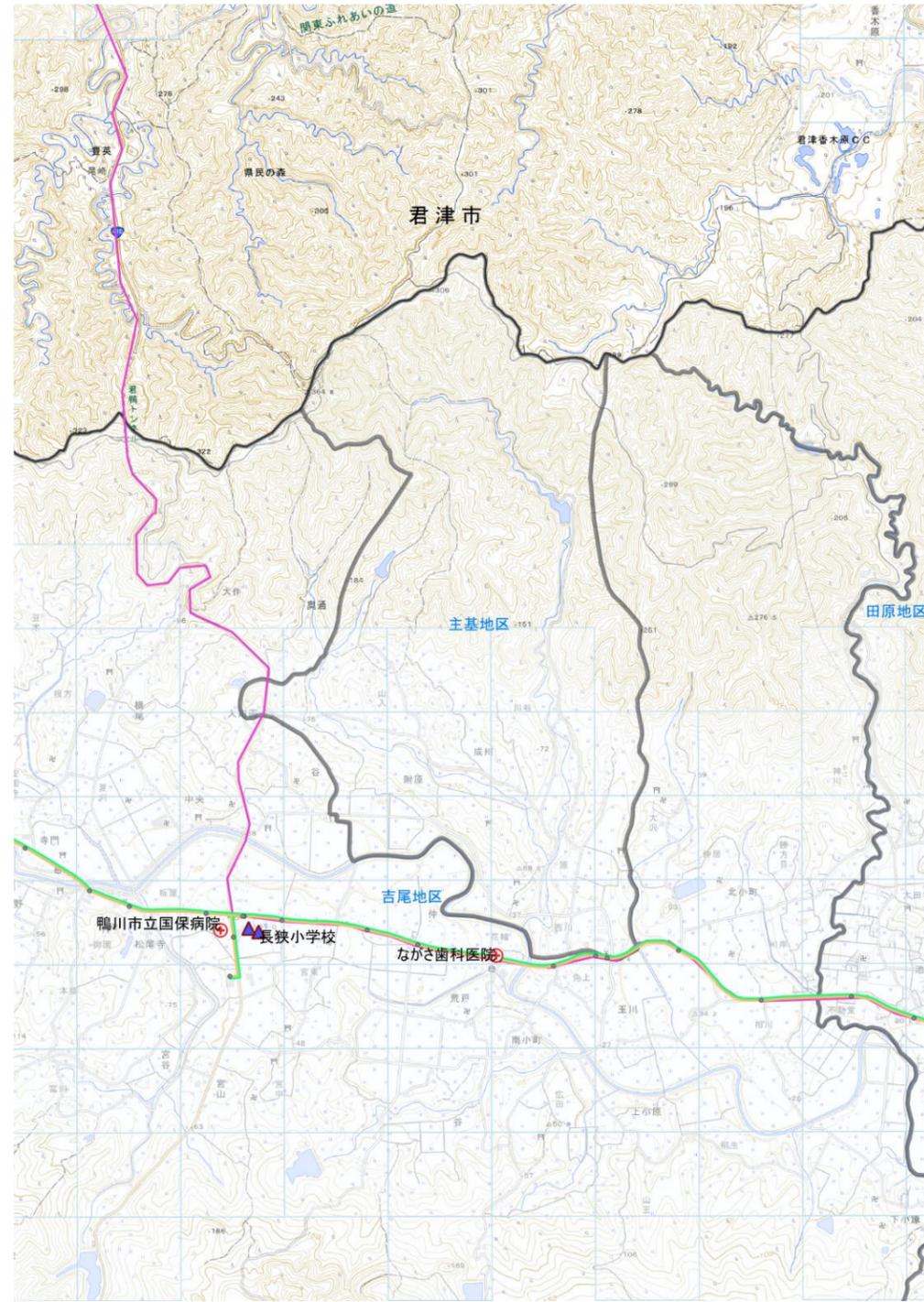
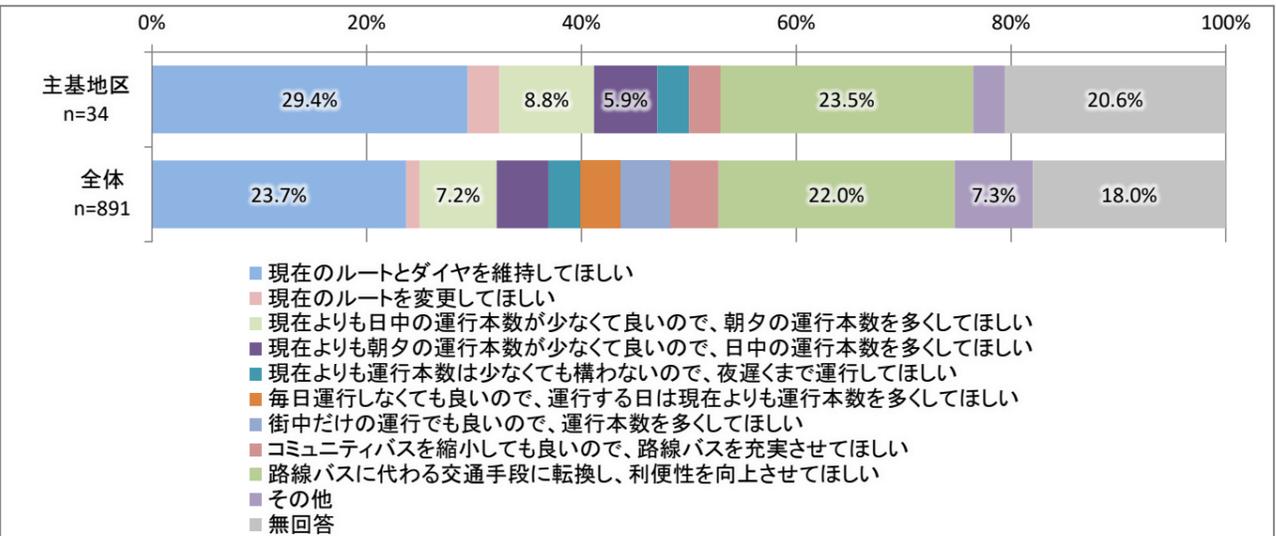
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑧江見地区

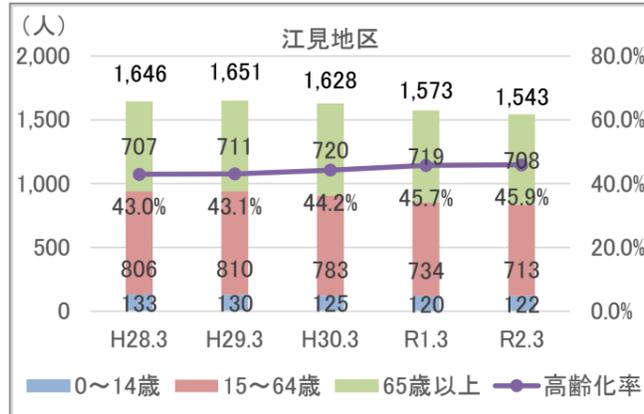
◆地区特性

- ・江見地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,540人が居住している。
- ・人口は江見小学校周辺に人口が集中している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約46%と高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通は鉄道と路線バスが中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約1割となっている。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- ・地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移手段の確保が必要。
⇒現在の路線バスは維持？、ただし、並行して鉄道も運行している。

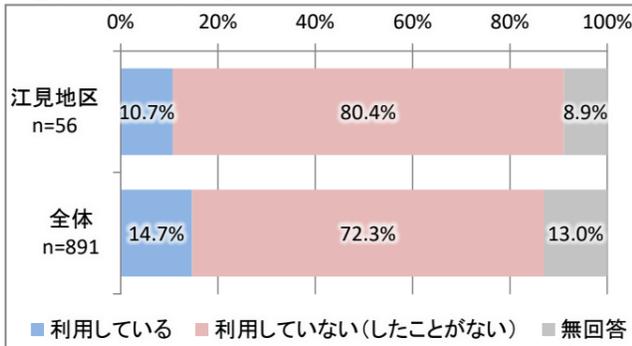
○地域概況（人口動態）



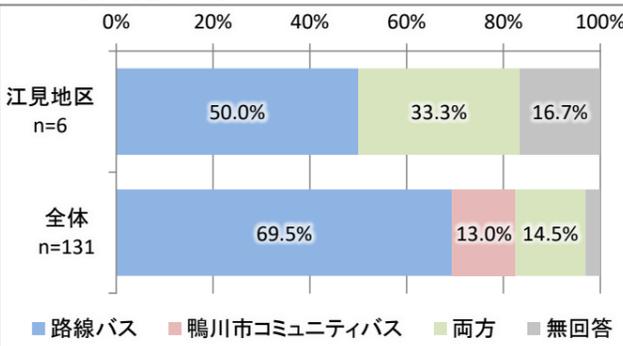
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

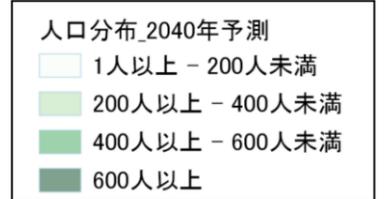
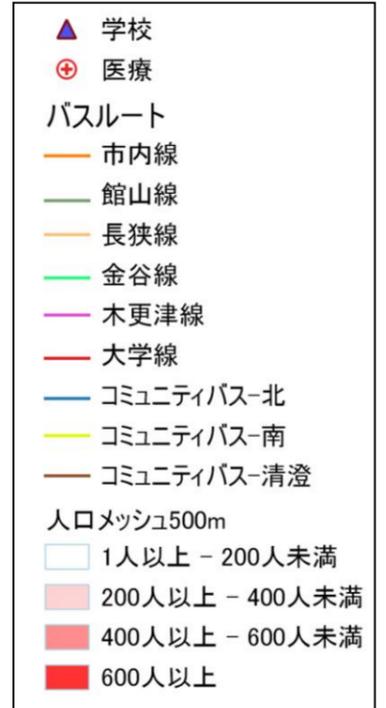
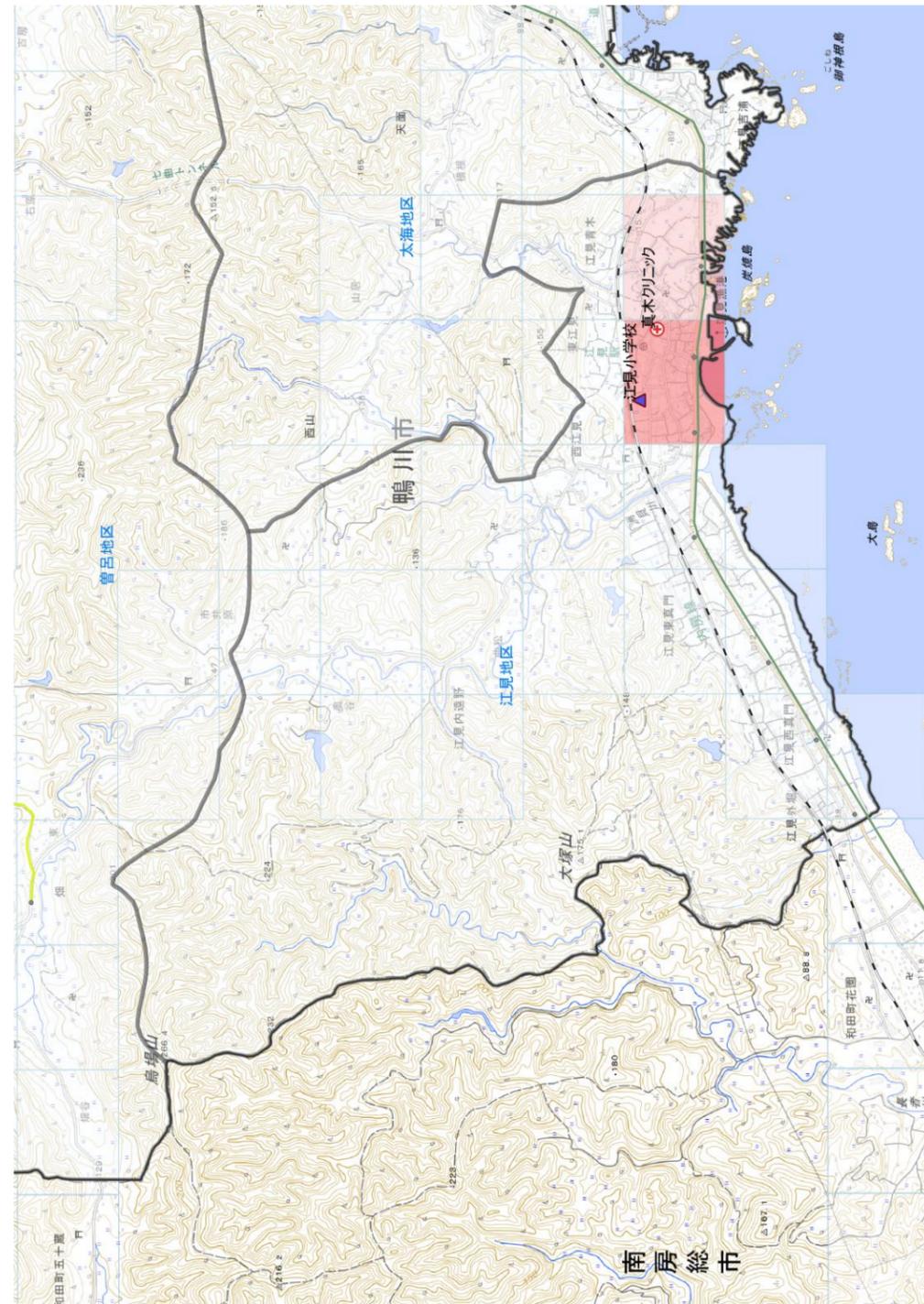
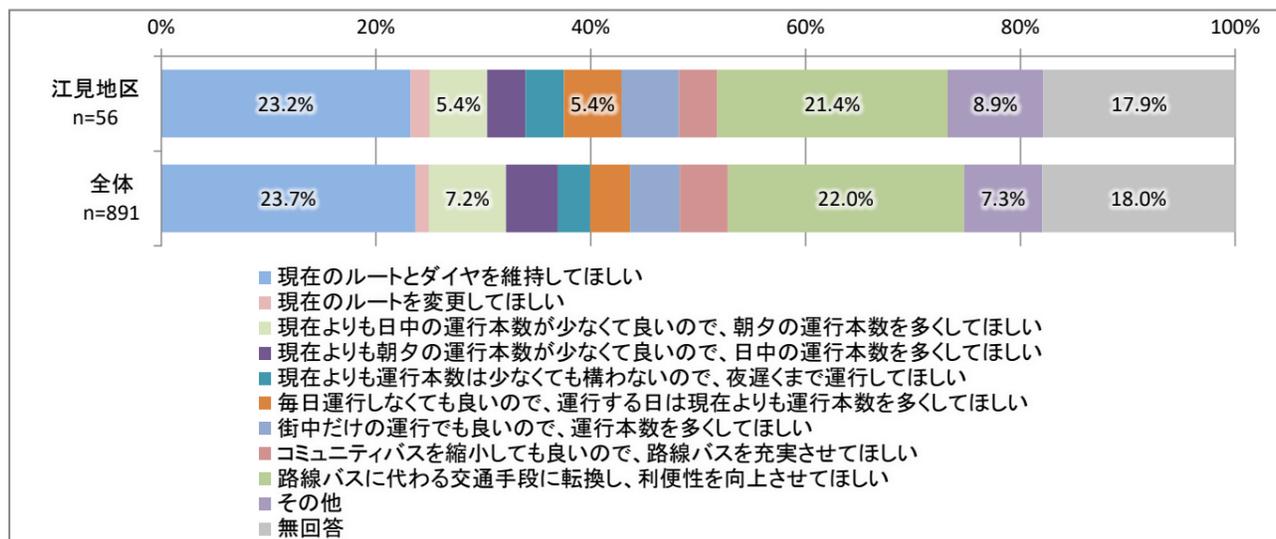
<公共交通の利用状況>



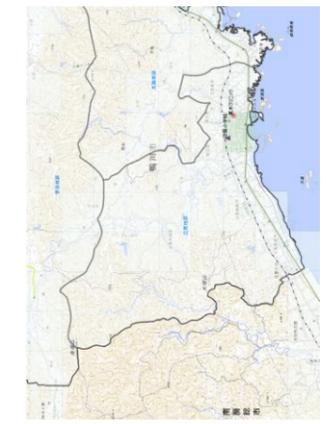
<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



<2040年将来人口推計>



⑨ 曾呂地区

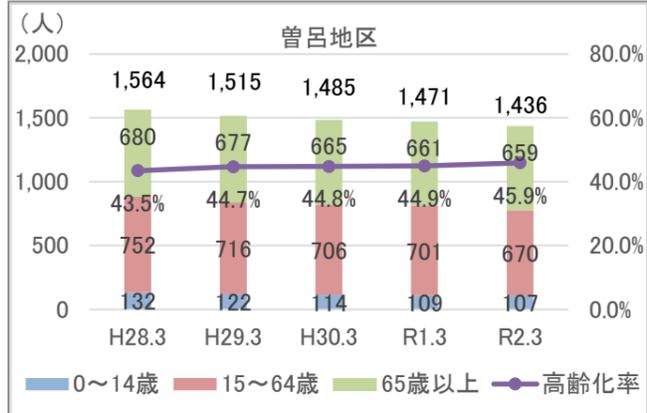
◆ 地区特性

- ・ 曾呂地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,440人が居住している。
- ・ 人口は地区全域に薄く分布している。
- ・ 高齢化率は令和2年3月時点で約46%と高い。
- ・ 地区内に施設等の立地が少ない。
- ・ 公共交通はコミュニティバスが中心部まで運行しているものの、利用者はアンケート回答者の1割未満と少ない。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- ・ 地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移手段の確保が必要。
⇒コミュニティバスの維持？、ただし、利用者数、収支率ともに低い状況。
- ・ 居住人口は少ないものの、路線バス沿線から離れた地域に居住している住民が見られる。
⇒バスによるカバーは難しい？

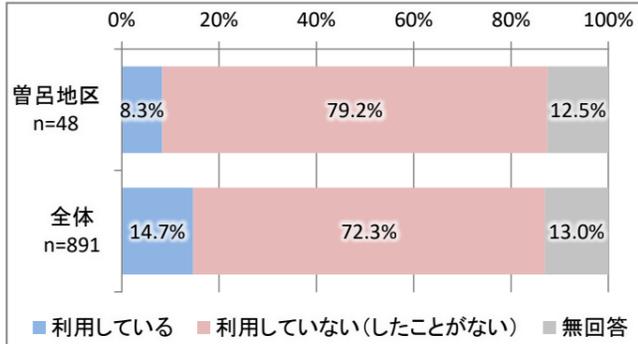
○ 地域概況 (人口動態)



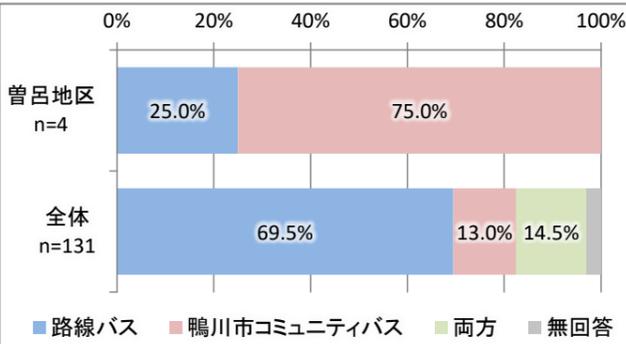
地区別の人口推計結果を掲載予定

○ 市民アンケート調査結果 (一部抽出)

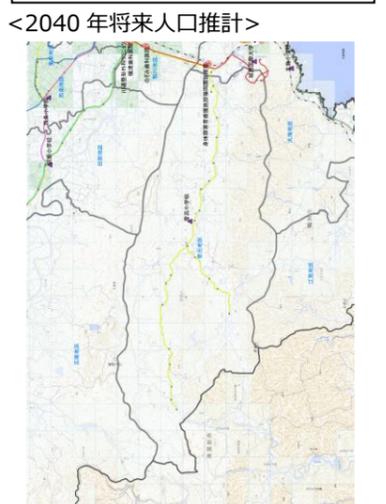
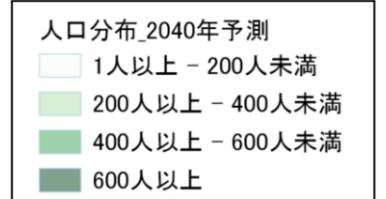
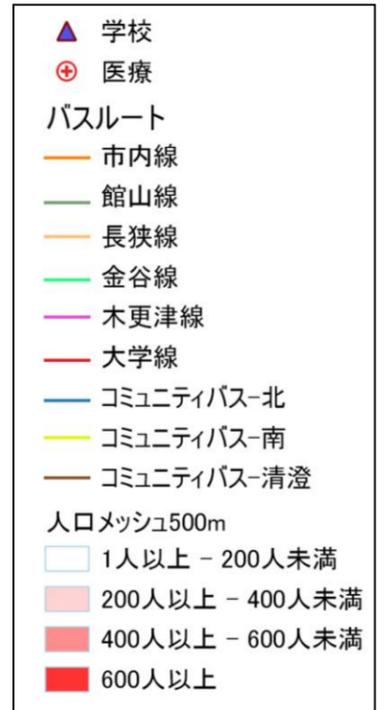
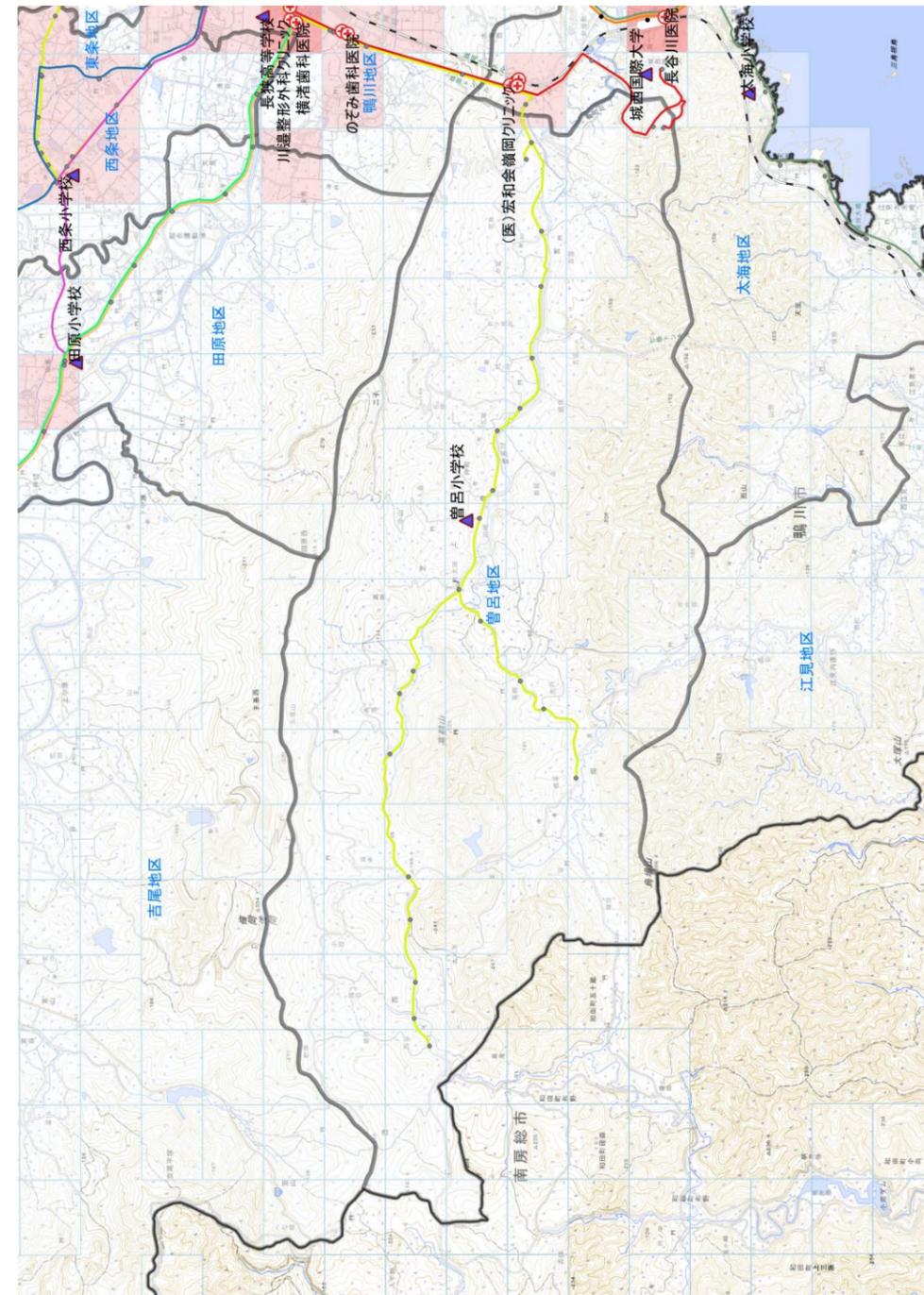
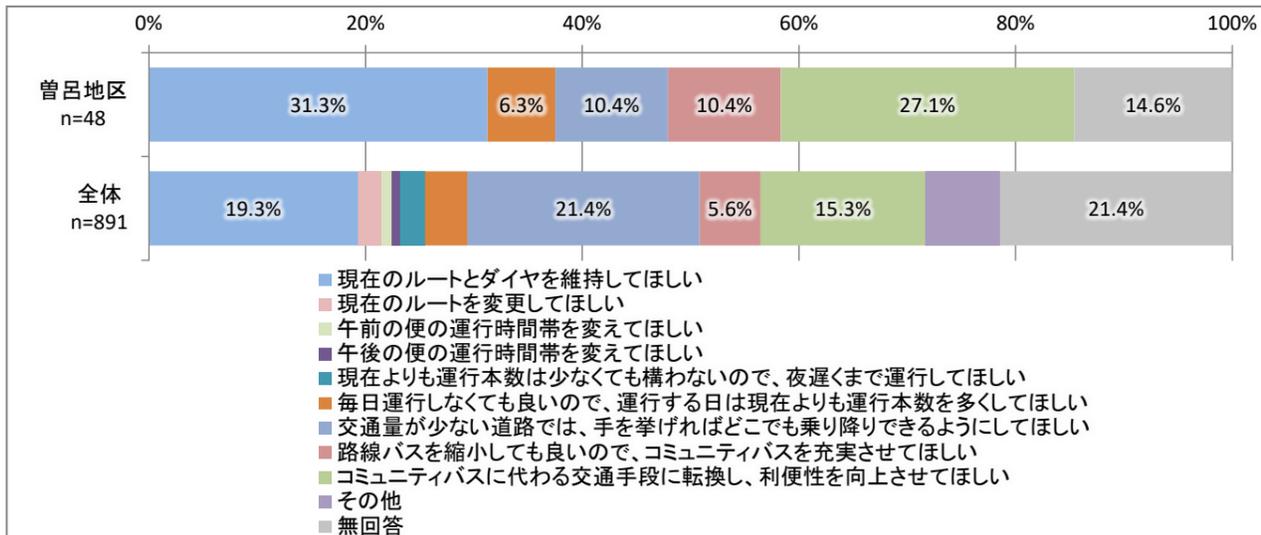
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<コミュニティバスの今後のあり方>



⑩太海地区

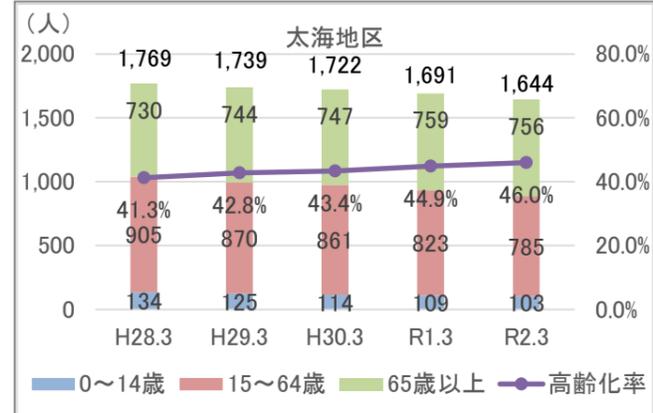
◆地区特性

- ・太海地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,640人が居住している。
- ・人口は地区全域に薄く分布している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約46%と高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通は路線バスと鉄道が中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約1割となっている。利用者の意見としては、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- ・地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移動手段の確保が必要。
- ⇒新たな公共交通の検討？、ただし、並行して鉄道も運行している。

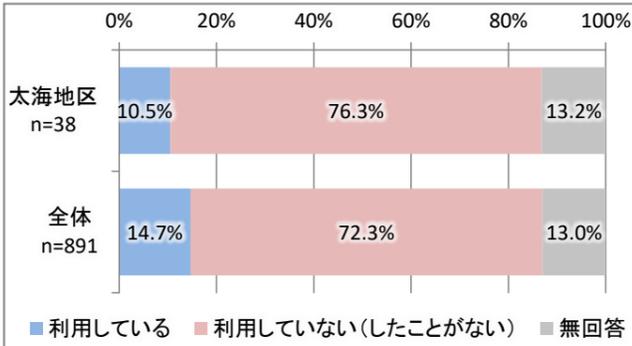
○地域概況（人口動態）



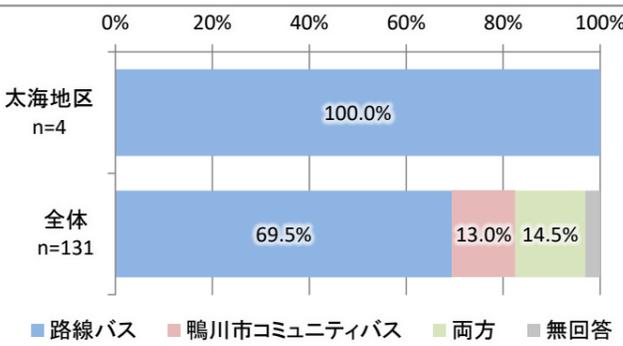
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

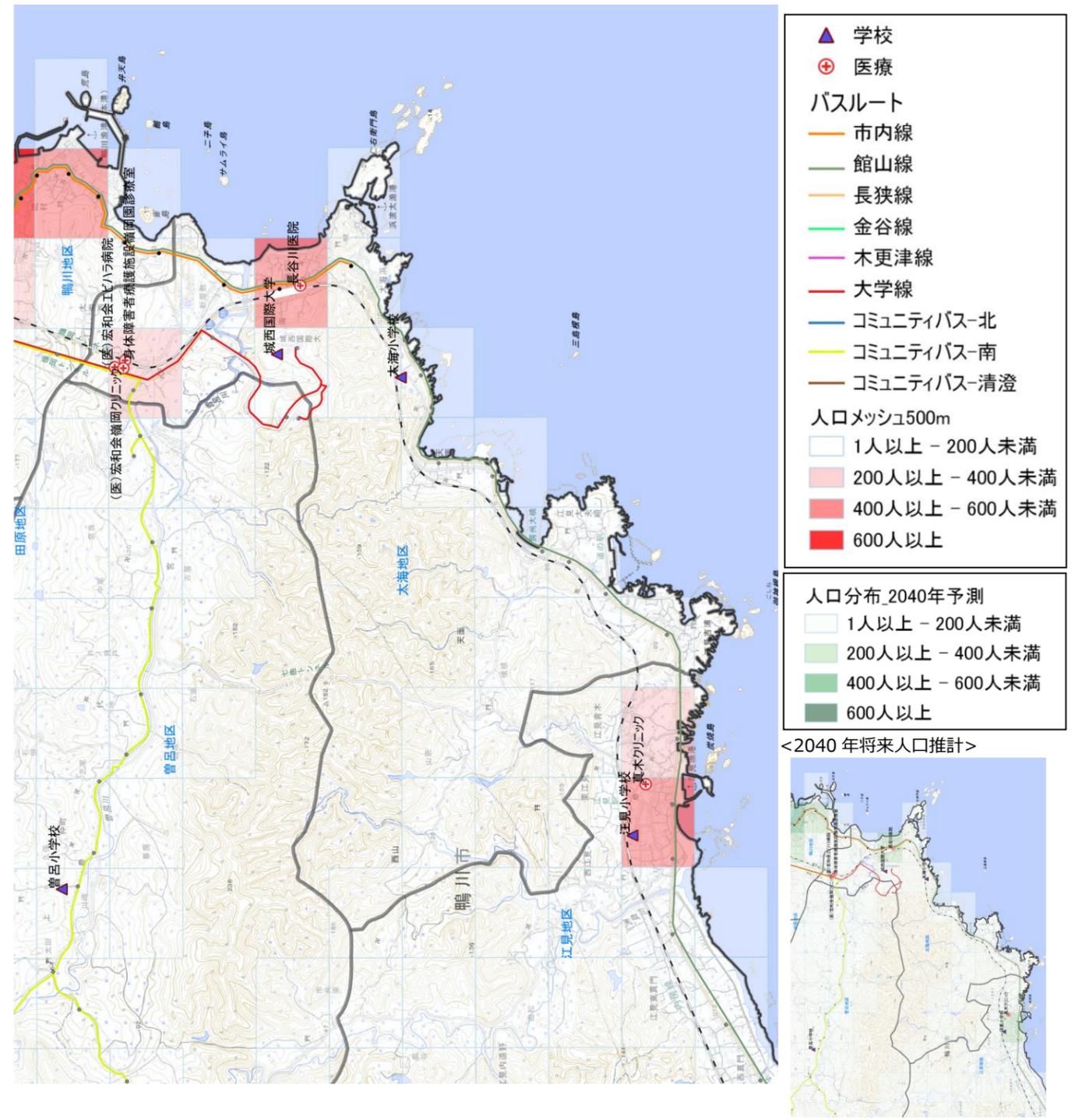
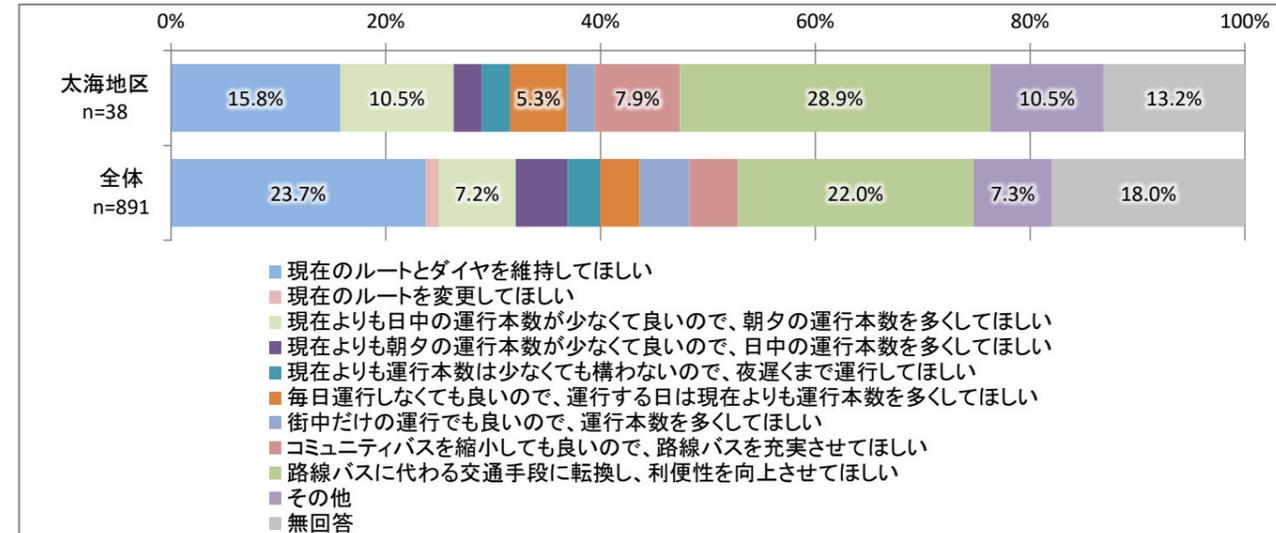
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑪小湊地区

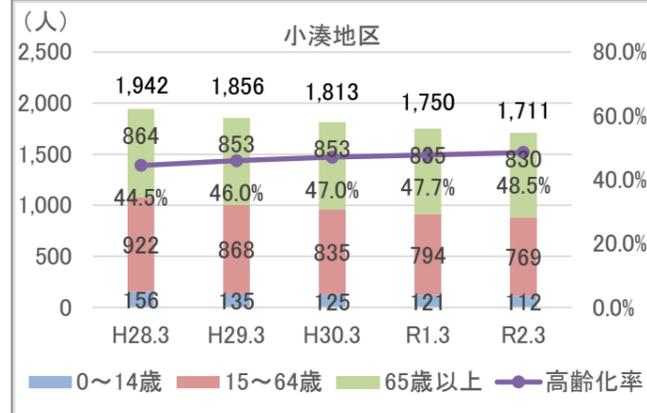
◆地区特性

- ・小湊地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約1,710人が居住している。
- ・人口は小湊小学校周辺に人口が集中している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約49%と高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通はコミュニティバスと鉄道が中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約2割となっている。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- ・地区内に施設が少ないため移動を完結できる中心部までの移動手段の確保が必要。
⇒コミュニティバスの再編？

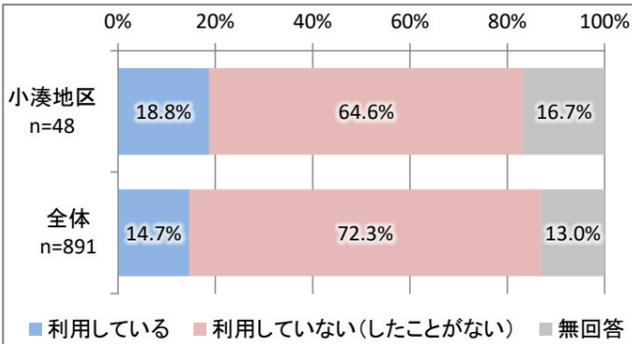
○地域概況（人口動態）



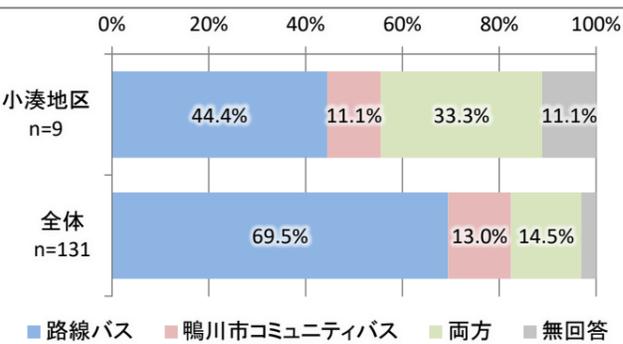
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

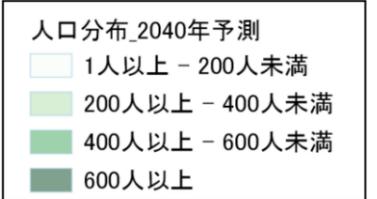
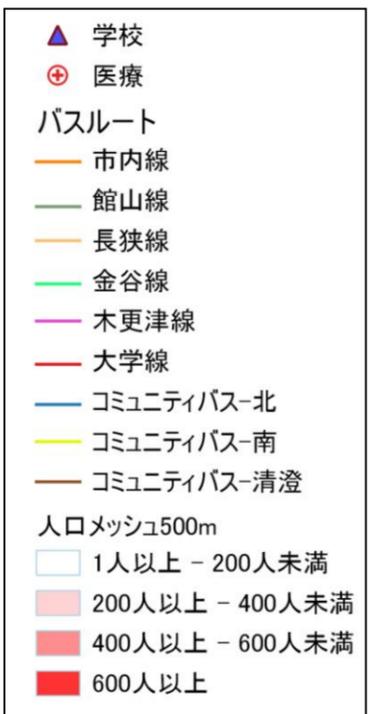
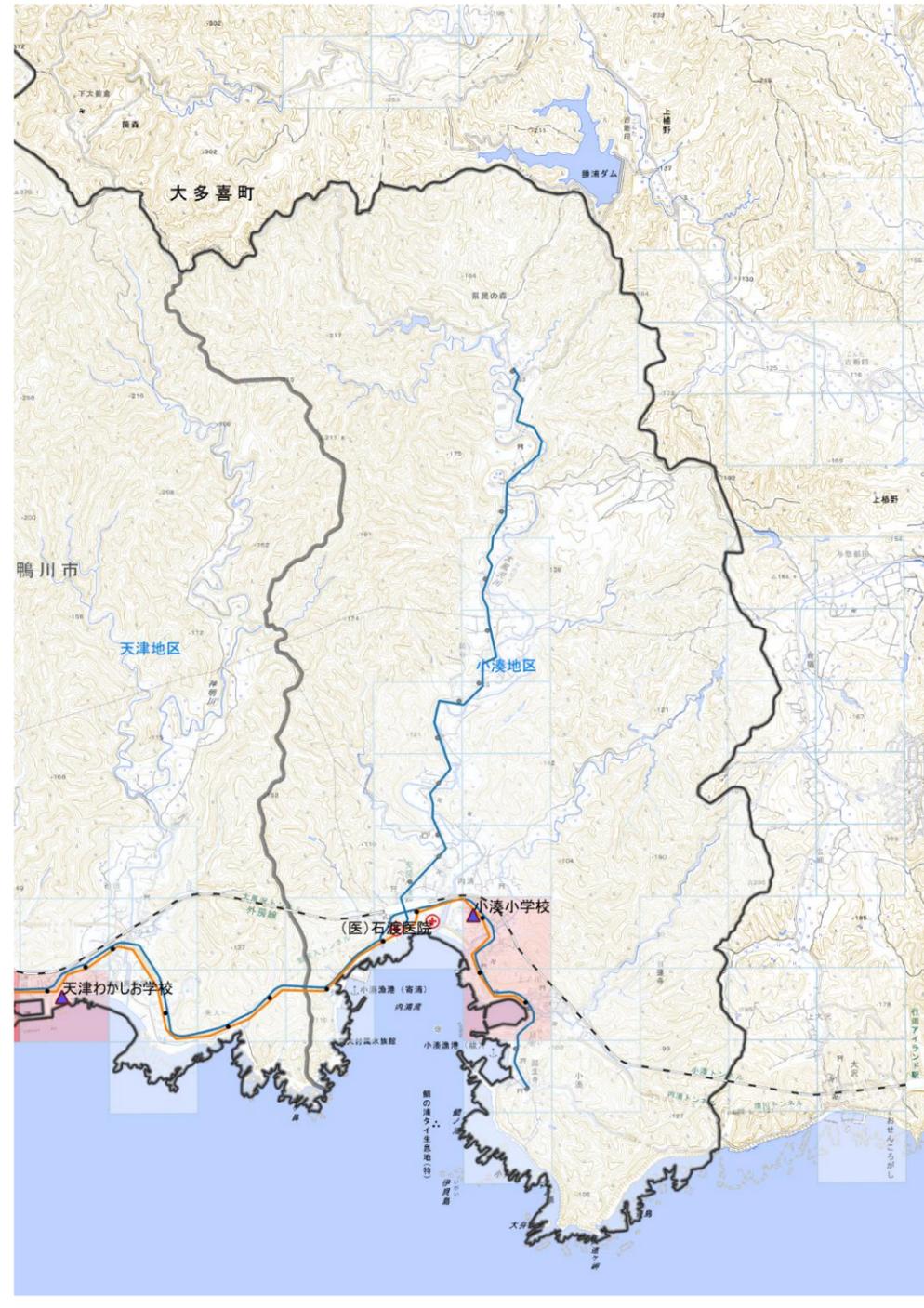
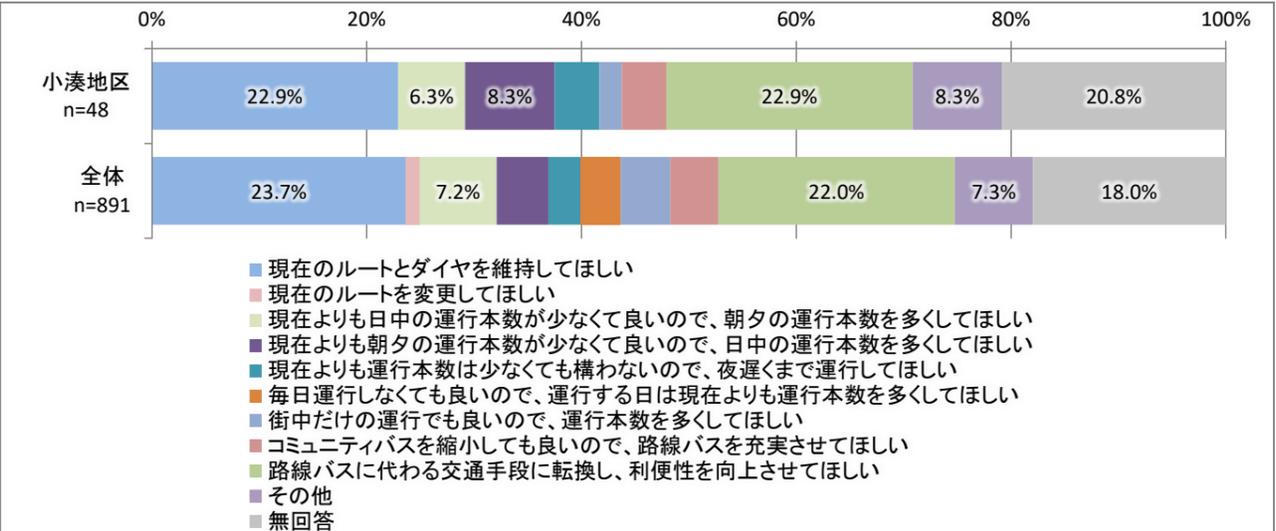
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



⑫天津地区

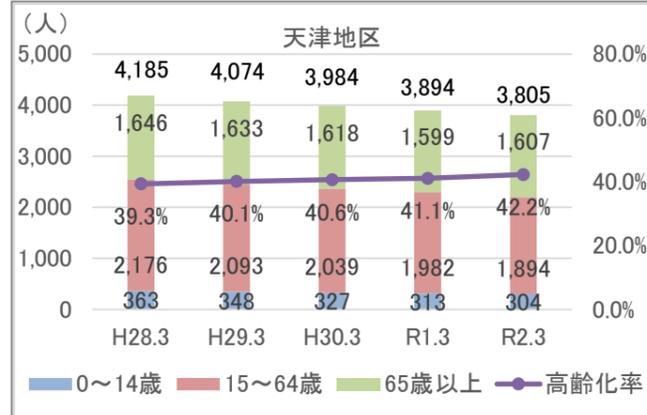
◆地区特性

- ・天津地区は、人口は減少傾向にあり、令和2年3月時点で約3,805人が居住している。
- ・人口は天津小学校周辺に人口が集中している。
- ・高齢化率は令和2年3月時点で約42%と高い。
- ・地区内に施設等の立地が少ない。
- ・公共交通はコミュニティバスと鉄道が中心部まで運行しており、利用者はアンケート回答者の約27%と高い。利用者の意見としては、現在のサービス水準の維持、路線バスに変わる交通手段への転換も求められている。

現状課題

- ・コミュニティバスの利用率が高いため、現在のコミュニティバスのサービスの維持？

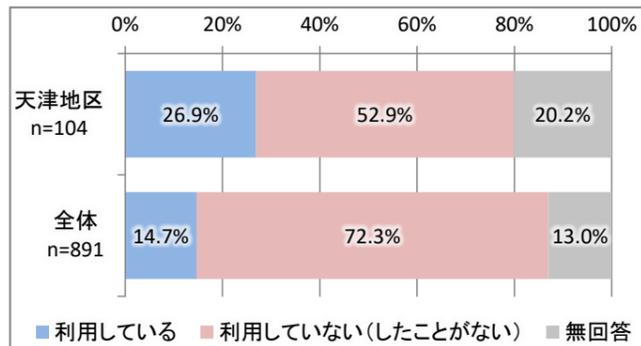
○地域概況（人口動態）



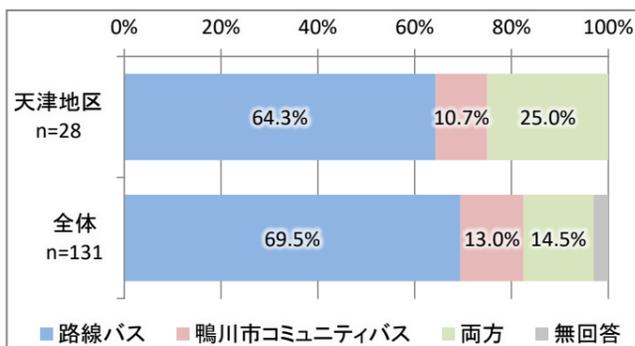
地区別の人口推計結果を掲載予定

○市民アンケート調査結果（一部抽出）

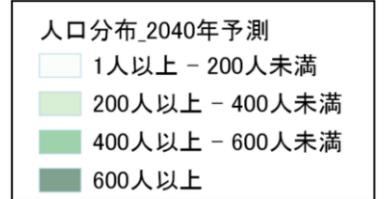
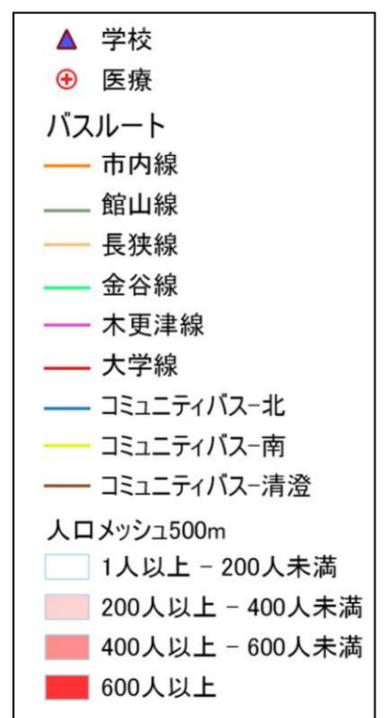
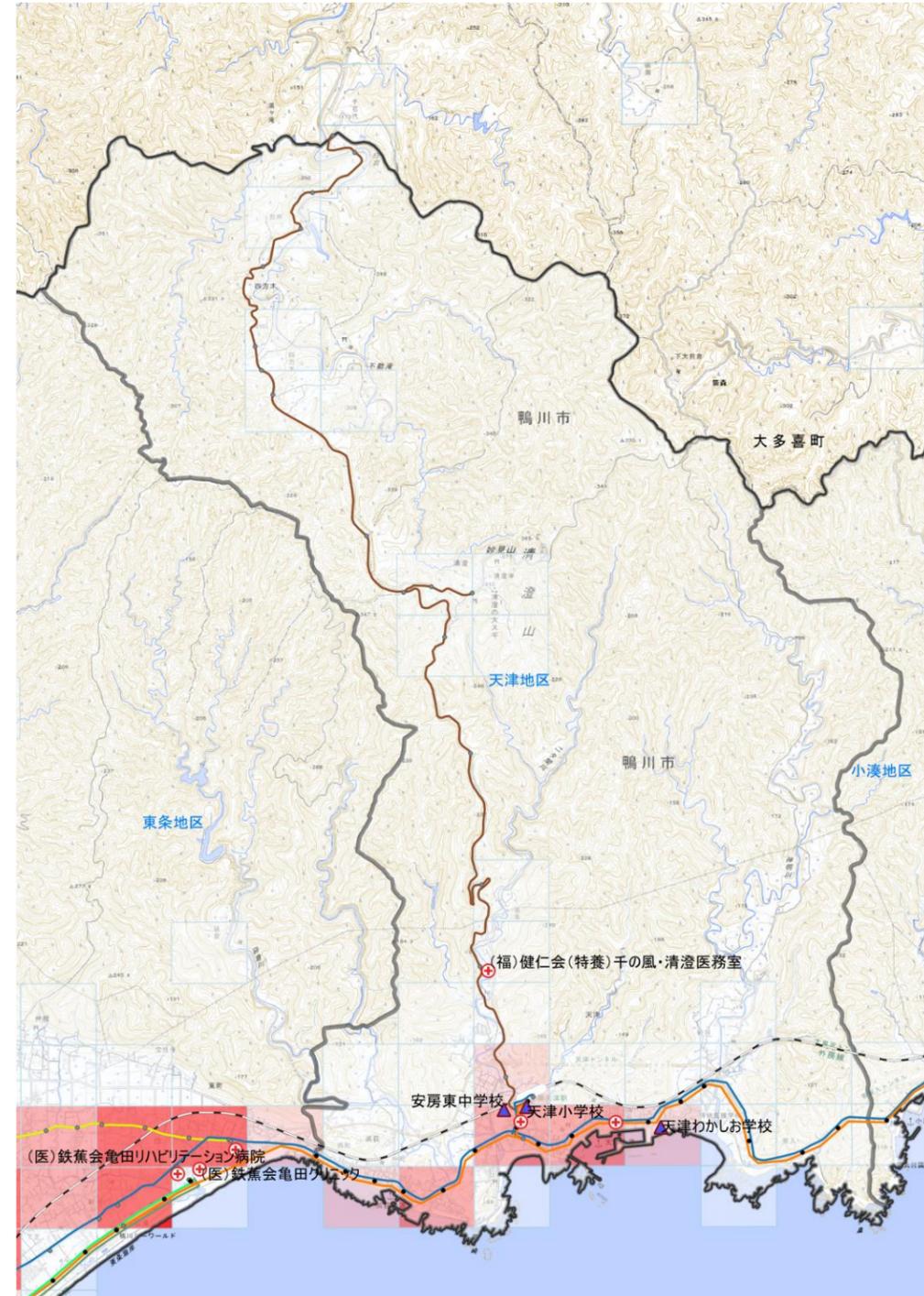
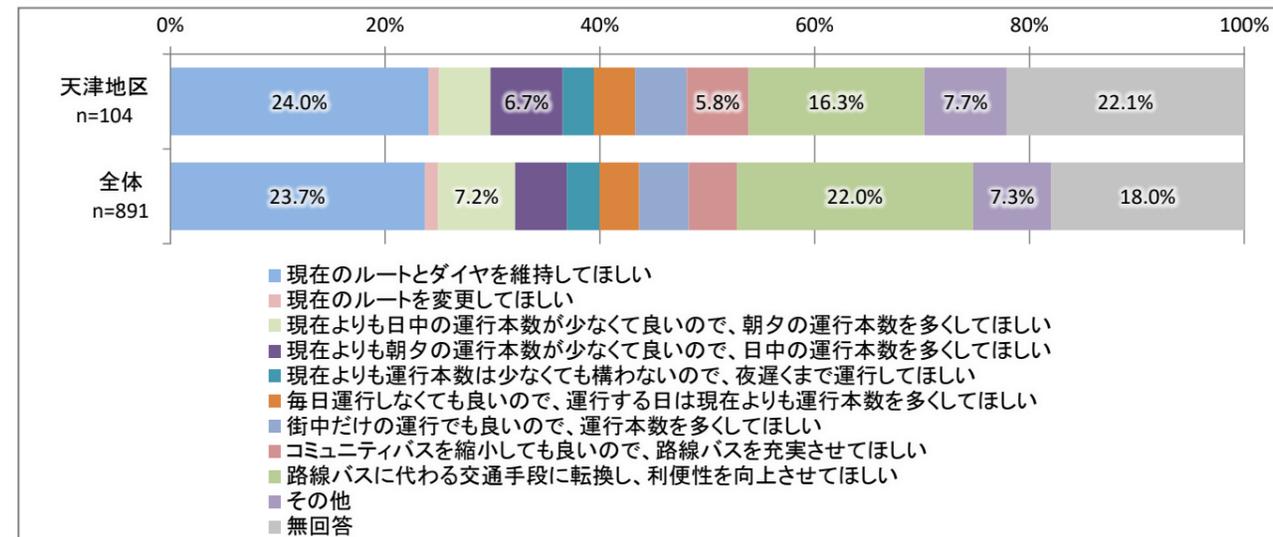
<公共交通の利用状況>



<利用している公共交通>



<路線バスの今後のあり方>



<2040年将来人口推計>

